

第 9 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成 2 6 年 8 月 7 日

臨 時 会

平成26年第9回越谷市教育委員会会議録

招集年月日 平成26年8月7日
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会8月7日 午前10時00分
 閉会8月7日 午後 3時25分

出席委員

委 員 長	住 田 俊	委 員 長 職務代理者	櫻 田 玲 子
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員 (教育長)	吉 田 茂		
欠席委員	な し		

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横 川 清	学校教育部長	野 口 久 男
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	斉 藤 美 子	学校教育部 参事兼 学校管理課長	日下部 行 雄
教育総務課長	山 梨 一 弘	学校教育部 副参事兼 指導課長	五十畑 勝 己
選定委員長 (大沢小校長)	荒 井 一 郎	学 務 課 長	上 野 高 弘
選定委員 (弥栄小校長)	鈴 木 毅 之	給 食 課 長	川 村 明
選定委員 (宮本小校長)	大 島 康 三	指導課主幹兼 教育センター 所 長	大 西 久 雄
選定委員 (大袋小校長)	大 友 みどり	指 導 課 主 幹	中 台 正 弘
選定委員 (大相模小校長)	黒 須 琢 也		
選定委員 (蒲生小教頭)	小 倉 しのぶ		
選定委員 (荻島小校長)	堀 江 均		

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副主幹	渋谷 博 之	指 導 課 教育担当主査	原 田 肇 子
指 導 課 教育担当 主任指導主事	上 野 雅 祥		

◎開会の宣告

住田委員長 これより8月の臨時教育委員会会議を開会いたします。

本臨時会に関し、14名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、第34号議案については人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

住田委員長 それでは、ここで傍聴人の入室を許可したいと思います。

〔傍聴人入室〕

住田委員長 それでは、傍聴人におかれましては、静謐な審議の進行にご協力をお願いいたします。

◎第32号議案 平成27年度使用小学校教科用図書の採択について

住田委員長 それでは、7月定例会教育委員会会議において議題とし、審議の途中となっております第32号議案 平成27年度使用小学校教科用図書の採択について、引き続き審議を行うことといたします。

審議に入る前に、審議種目の順序についてですが、7月定例会において、特別支援教育に係る教科用図書全般、国語、書写、社会、地図を審議いたしましたので、本日は引き続き算数、理科、音楽、生活、図画工作、家庭、保健の種目の順で審議を進めてまいります。

また、審議の手順についてですが、種目ごとに審議及び採択を行います。

審議は、まず選定委員からの説明及びそれに関する質疑を行った後に協議を行います。その後に教育委員による最終協議及び採択を行います。

全体の採決については、本日、全ての種目の採択終了後に一括して行うことといたします。

なお、前回の会議の中で決定したとおり、採択に係る最終協議及び採択の部分については、教科用図書採択の静謐さを保つため、別会場にて秘密会といたします。

それでは、これより教科用図書の審議を行います。

初めに、算数の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

住田委員長 算数の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

荒井選定委員（大沢小校長） それでは、失礼いたします。算数の教科書についてご説明させていただきます。

まず初めに、東書についてご説明します。

まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、算数的活動を重視し、スパイラルによる授業が展開しやすい点が挙げられます。本時の狙いがわかりやすく示されていて、自学自習の視点からも工夫されていると考えます。

次に、内容についてでございますが、プロログが充実していて、単元前の復習コーナー、「おぼえているかな」は効果的であると考えます。単元の終わりに力をつける問題「やってみよう」、「しあげ」の問題があり、巻末の補充の問題は基礎・基本レベルとチャレンジレベルの２段階の問題が用意されており、個々の習熟度に応じた基礎・基本の確実な定着が図れるよう工夫されています。小中の連携の視点から、６年の巻末には中学校体験入学コースが設けられています。

次に、資料や表記・表現についてでございますが、図や表は色分けされています。新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方が記されています。問題、課題、定義、公式、重要事項などは色づけで強調されたり、囲み方を区別したりするなど工夫されています。

最後に、総括でございますが、各領域において、各学年の内容及び算数的活動などを系統的、効果的に指導できるように構成されています。子どもが苦手としている図形や比例、テープ図や数直線の扱いに工夫が見られます。練習問題が質的にも量的にも工夫されていて、子どもたち一人一人に合った対応ができるよう配慮されています。

次に、大日本についてご説明します。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、単元導入時でのアプローチや問題の提示の仕方に工夫が見られます。随所に既習事項をもとに解決を促す投げかけが提示されていたり、具体物を用いた作業的、体験的な活動を全学年に設け、既習事項を用いながら効率よく学習が展開されるように工夫されています。

次に、内容についてでございますが、巻末に既習事項を振り返るための「チェック アンド トライ」が用意されており、振り返り学習ができるよう工夫されています。学年ごとに当該学年で学習する内容の復習問題や発展的な要素も含まれた補充問題も用意されており、子どもの実態に合わせて取り組むことができるようになっています。小中連携の視点から、６年の巻末に「数学の世界へ」というコーナーがあります。資料や表記・表現については、東書とほぼ同様の工夫や配慮がなされています。

最後に、総括でございますが、説明や話し合いなどの言語活動例をわかりやすく示し、学習を深められるように工夫されています。ページの余白が多く、考えを書くスペースがあります。数直線を系統的に扱い、式と訳の記述に重点を置いています。

次に、学図についてご説明します。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、内容を精選し、その分、習熟のための問題に取り組む時間を確保できる構成にな

っており、基礎・基本の定着を確実に図るための授業が展開しやすい工夫がなされています。数学的な考え方を身につけられるよう、類推、帰納、演繹などの考え方を具体的に示し、また系統性を考えた図の指導ができるよう工夫されています。

次に、内容についてでございますが、各単元の冒頭に既習の学習内容を振り返る問題が設定されており、既習事項が確認できるよう工夫されています。問題については、単元の終わりに練習、力試しの問題があり、区切りのいいところには復習の問題があります。難しいと思ったら、ヒントが入ったサポートのページへ進むことができます。計算問題には補充の問題がついています。さらに、学習内容を応用する問題、チャレンジが設定されています。つまりいたときに振り返ることができ、自学自習にも適しています。小中連携の視点から6年には別冊「中学校へのかけ橋」があります。資料や表記・表現については、東書とほぼ同様の工夫や配慮がなされています。

最後に、総括でございますが、内容が精選されていて見やすく、習熟や補充など子ども一人の学力向上に向けて弾力的に指導できるよう配慮されています。内容が複雑になってくる高学年ほど効果が期待できると考えます。導入と算数的活動の充実に配慮した構成となっております。

次に、教出についてご説明します。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、算数的活動を中心とした問題解決的な学習が展開しやすいよう工夫されています。随所に児童の言葉を誘い出す投げかけの工夫が見られます。また、既習事項の確認のページを設け、系統性を意識しながら取り組めるよう工夫されています。いろいろの視点からの問題場面の設定がなされており、算数を学びながら、他教科等へのつながりも意識して指導できるように工夫されています。

次に、内容についてでございますが、巻末に「学びの手引き」があり、作図の仕方や算数で用いる道具の使い方が示されています。また、高学年の巻末には「学びのマップ」があり、当該学年の学習内容と今までの学習内容との系統性がわかりやすく示されています。さらに、小中連携の視点から6年の巻末に「数学へのとびら」があります。資料や表記・表現については、東書とほぼ同様の工夫や配慮がなされています。

最後に、総括でございますが、「どんな学習が始まるのかな」など意欲を高める配慮がなされています。学年を超えて既習事項を振り返ることができるように構成されており、つまりきがちなお子どもや発展的な学習をしたい子どもへの対応ができるよう配慮されています。「学びの手引き」があるため、いつでも振り返ることができます。

次に、啓林館についてご説明します。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、適宜目当てが示され、問題解決的な学習ができるように工夫されています。類比、帰納、演繹などの考え方を随時活用して生かせるよう話し合い活動を通した主体的な問題解決の場が設定されています。

次に、内容についてでございますが、学習の進め方が示されており、算数の時間での思考の流

れを段階ごとに深めることができるよう工夫されています。問題の設定にも工夫が見られ、各学習段階に応じた問題が設定されています。具体的には単元の前のページに準備で既習内容が確認できるコーナーがあります。また、繰り返し練習ができる「もっと練習」の問題で補充したり、さらに学習の定着が図れるよう「練習」の問題があります。単元の終わりには「たしかめましょう」の問題があります。小中連携の視点から、6年の巻末に「算数卒業研究」というコーナーがあります。資料や表記・表現については、東書とほぼ同様の工夫や配慮がなされています。

最後に、総括でございますが、全領域において考え、そして説明することを大切にしています。多様な学習形態や児童の発達段階の対応が可能となるように構成されていて、スパイラルな学習や練習、補充問題の充実により、子ども一人一人に基礎・基本が定着するよう配慮されています。

最後に、日文についてご説明します。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてご説明でございますが、横長のA B判、他社はB 5判ですけれども、日文につきましては横の長さがA 4判になっておりまして、横長のA B判の側注、ここの横の縦の部分ですけれども、側注を利用して学習の流れが示され、問題解決的な学習が展開しやすくなっています。見通しや話し合いの着眼点も示されています。自分の考えを表現したり、わかりやすく説明したりするための言葉や考え方を示し、算数的活動を促し、問題解決的な学習がより進むよう工夫されています。

次に、内容についてでございますが、上巻の巻末に学び方ガイドがあり、各段階に適した考え、視点が紹介されています。学習した直後の練習の問題、より深める「いち・に・算活」の問題、そして「たしかめポイント」の問題と基礎的・基本的な内容が確実に身につけられるよう工夫されています。巻末には、さらに力をつけるために「ステップアップ練習」の問題が用意されています。小中の連携の視点から、6年の巻末に「もうすぐ中学生」というコーナーが設けられています。資料や表記・表現については、東書とほぼ同様の工夫や配慮がなされています。

最後に、総括でございますが、横長のA B判を利用しているため、教科書が広く見やすく、書き込むスペースがあります。教科書に学習の手順や着眼点とともに、問題解決的な学習過程がわかりやすく示されています。全体的に絵や写真、作図の仕方など見やすく丁寧な構成がなされています。

教科書の説明については以上でございます。

次に、教科書の推薦でございますが、東書は系統性や他教科との関連を重視していることと、本時の狙いが教師や子どもにわかりやすく示されているとともに、練習問題の難易度に幅を持たせてあり、質的にも量的にも工夫や配慮がなされていることなどの理由で、また学図は内容が精選されていて見やすく、習熟や補充など弾力的に指導できるよう配慮されていることと、導入と算数的活動の充実に配慮した構成となっていることなどの理由で、さらに教出は「学びの手引き」があるため、いつでも振り返ることができることと、高学年では「学びのマップ」があり、当該学年の学習内容と今までの学習内容との系統性をわかりやすく示されることなどの理由で、越谷

市立小学校の実態に適合していると考え推薦いたします。

ご説明及び教科書の推薦につきましては以上でございます。

住田委員長 ただいまの報告につきまして質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答をお願いいたします。

それでは、まず私のほうから幾つか質問をさせていただきますが、基礎・基本の確実な定着を図るため、どのような工夫が見られるでしょうか。

荒井選定委員（大沢小校長） ただいまのご質問にお答えします。

東書につきましては、写真や挿絵などが生活場面に即したものが多く、子どもが算数と実生活の関連を実感できるよう配慮しています。また、子どもが苦手としている図形や比例、テープ図や数直線などを大切に扱っています。補充的な学習を進めたい子どもにも配慮し、練習問題の難易度に幅を持たせてあり、質的にも量的にも工夫や配慮がなされています。

大日本につきましては、日常生活や学校生活、他教科と関連した教材を積極的に取り入れています。また、数直線が丁寧に見やすく描かれていて、問題解決の手助けとなっています。学図につきましては、導入に配慮して構成で子どもが意欲的に学習に取り組めるよう配慮し、工夫されています。また、難しいと思ったらヒントが入ったサポートのページに進むことができます。大切な単元を丁寧に扱う構成となっています。

教出につきましては、「どんな学習が始まるのかな」を設定し、意欲を高める配慮があります。また、巻末に「きほんの問題」が用意されています。学年を超えて既習事項を振り返ることができるように構成されていて、つまずきがちな子どもへの対応ができる配慮をしています。

啓林館につきましては、資料で身近な絵や写真を取り入れています。また、学習内容や要点が示されている箇所を設けています。

日文につきましては、作業的・体験的な学習や学習したことを実際の場面に生かす活動も取り入れています。また、全体的に絵や写真、作図の仕方などが見やすく丁寧な構成になっています。

以上でございます。

住田委員長 続いて、では発展的・応用的な学習の充実のため、どのような工夫が見られますか。

荒井選定委員（大沢小校長） ただいまのご質問にお答えします。

東書につきましては、単元の終わりに力をつける問題を設定しています。発展的な学習を進めたい子どもに対応できるよう、内容、配色などにも配慮がされています。練習問題内で幅があり、先ほども申し上げましたが、質的にも量的にも工夫や配慮がなされています。

大日本につきましては、発展的な要素を含んだ補充問題を設定しています。

学図につきましては、学習内容を応用する問題、チャレンジが設定されています。

教出につきましては、巻末にレベルアップ問題が設定されています。学年を超えて既習事項を振り返ることができるように構成されていて、発展的な学習をしたい子どもへの対応ができるよ

う配慮されています。

啓林館につきましては、一つの課題に対して練習問題と、もっと練習を設定しています。

最後、日文につきましては、補充問題の充実と算数が得意な子ども、より学習したい子どもへの対応ができるよう配慮されています。

以上でございます。

住田委員長 家庭学習など子どもが自主的な学習をしやすいような、そういうような配慮というのはあるのでしょうか。

荒井選定委員（大沢小校長） それでは、ただいまのご質問にお答えします。

東書につきましては、自主学習の視点からも目当てが教師や子どもにわかりやすく示されています。また、プロログが充実していて、単元前の復習コーナー「おぼえているかな」は効果的と考えます。さらに、巻末に算数自習コーナーを設けてあり、自学自習が可能になっています。

大日本では、巻末に既習を振り返るための「チェック アンド トライ」を設定してあります。

学図につきましては、自力解決を支援する具体的な方法が掲載されています。つまりいたときに振り返ることができ、自主学習に適していると考えます。

教出につきましては、自力解決の支援となるよう、どのように考えればいいかを具体的に紹介しています。単元の前に「学習をふり返ろう」、巻末に「学びの手引き」を設定し、既習内容が確認できるコーナーがあります。

啓林館につきましては、単元の前に準備として既習内容が確認できるコーナーがあります。学習の進め方が示されていて、思考の流れを段階ごとに深められます。

最後、日文ですが、上巻の巻末に「学び方ガイド」を設定し、各段階に適した考える視点を紹介しています。単元の初めに「次の学習のために」を設定し、既習内容の確認ができるようになっています。

以上でございます。

住田委員長 それから、算数的活動の充実について、どれくらいの、どのような配慮が見られるでしょうか。

荒井選定委員（大沢小校長） ただいまのご質問にお答えします。

東書につきましては、各章の初めに身近な生活の中にある算数を取り上げています。目次では、学習の系統性が示されています。

大日本につきましては、各章の初めに新しい学習の系統性や見通しを意識した題材が設定されています。目次では、既習事項との関連が示されています。

学図につきましては、各章の初めに身の回りにある算数を取り上げています。目次では、既習事項との関連が示されています。

教出につきましては、単元の導入では具体的な場面を設定した問題と、それに対する予想や学

習方法のヒントが示されています。目次では、既習事項との関連が示されています。

啓林館につきましては、単元の導入では、具体的な場面を設定した問題と、それに対する予想や学習方法のヒント、単元の「学習のめあて」が示されています。目次では、既習事項との関連が示されています。

最後、日文ですが、単元の導入では、身近な生活の中にある算数と、それに関連した問題を取り上げています。目次では、既習事項との関連が示されています。

以上でございます。

住田委員長 それから、ノートの手書きの指導について、どのような工夫が見られるでしょうか。

荒井選定委員（大沢小校長） ただいまのご質問にお答えします。

東書につきましては、「算数マイノートをつくろう」が設けられ、授業1時間分のノートの具体例と書き方のポイントが示されています。さらに、「友達のノートの工夫」と題して幾つかのバリエーションも記されています。

大日本につきましては、「算数の学び方」が設けられ、授業1時間分のノートの具体例と書き方のポイントが示されています。

学図につきましては、「ノート名人になろう」が設けられ、ノートづくりのポイントが示されています。

教出につきましては、友達のノートを見てみようが設けられ、授業1時間分のノートの具体例と書き方のポイントが示されています。教師のコメント類も記されています。

啓林館につきましては、単元のまとめとして「学習の感想をノートに書く活動」が設けられ、記入例も示されています。

最後、日文ですが、「算数ノートをつくろう」が設けられ、授業1時間分のノートの具体例と書き方のポイントが示されています。

以上でございます。

住田委員長 他には。

どうぞ、堀川委員。

堀川委員 堀川です。2点ばかりご質問させていただきます。

各社とも上下に分かれていたり、6年生に関しては1冊にまとまっていたりというような形、いろいろ工夫されているようですけれども、各社の対応と、何か狙いといったものがあるのかどうかということをお聞きしたいと思います。

荒井選定委員（大沢小校長） 合本か分冊されているかですけれども、東書につきましては1年から5年が上下分冊、6年が合本です。1年が上下分冊は東書のみです。身体的な負担に配慮するために1年が上下分冊になっています。

大日本につきましては、1年から6年全て合本です。全て合本なのは大日本のみです。先ほど

の東書であれば、6年合本、大日本が1年から6年が合本なのですけれども、合本にしたというのは、特に高学年、6年生は合本が多いのですが、中学校入学時での環境変化に順応できるように、それから1年間を通して既習内容をいつでも振り返ることができるようになっております。

学図、教出、啓林館の3社は、1年と高学年5、6年が合本、2年と中学年の3、4年が上下分冊です。

日文につきましては、1年が合本、2年生から6年が上下分冊です。6年が上下分冊は日文のみです。

以上です。

堀川委員 もう一点ですが、算数の教科書の中での言葉遣いの取り扱いで何か特徴があるところがありましたら教えていただきたいのと、あと資料についてもいろいろ工夫を各社ともされているようですが、それについて特徴があったら教えていただければと思います。

荒井選定委員（大沢小校長） ただいまのご質問にお答えします。

先ほども報告のときに申し上げましたとおり、各社ともほぼ同じような工夫や配慮がなされています。具体的に申し上げますと、各社とも新出の用語、記号、単位が太字で読み方と書き順が示されています。また、問題、課題、定義、公式、重要事項などは、各社とも色づきで強調したり、囲み方を区別したりする等の配慮が見られます。

以上でございます。

堀川委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 他になければ質疑のほうを終わります。

選定委員のご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり及び質問にもありましたけれども、算数科の学習で重視される視点である算数的活動の充実と基本的な事項の習得のための工夫について協議したいと思います。

ご意見をお願いします。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、私のほうから言わせていただきますが、候補に挙がりました6社全て基礎・基本となるような事項については、十分な工夫がされているように思われました。また、新たな学習事項に入るなど、いわゆる導入部分につきましても、各社とも力を入れているように思われます。そして、既習した事項を利用しながら進めているというような点から、本協議内容の算数的

活動の充実と基本的な事項の習得のための工夫は、各社とも十分と言えるのではないかというふうに考えています。

こうした中で印象的だったのが、東京書籍の全学年の既習内容のポイントが示されているところは、児童の理解状況に応じて振り返りやすいようにしてあったというところ、また学校図書の単元の終わりにある練習、力試しの問題や復習の問題が入っているところなどは、学習過程に対応してあってよいと思われますし、難しいと思われる箇所にはサポートが入っている点、学習内容を応用するチャレンジ問題が設けてあるなどは、児童が自習するにも適当ではないかなというふうに思われました。

住田委員長 吉田教育長。

吉田教育長 同じことなのですけども、思考力、判断力を育成するためには、既習の知識、技能を活用する学習を行う必要があるというふうにされているわけですけども、例えば委員長さんがおっしゃいました東書の学習の入り口というところでは、身近な生活の中にある算数、あるいはこれまでに学習してきたこと、これを取り上げるなど活用を意識した流れがより丁寧に設定されており、意欲をつながながら算数的活動を充実させるという点では考える力を身につけさせるような工夫ができていているというふうに感じております。

住田委員長 他にはございますでしょうか。

では、堀川委員。

堀川委員 推薦の3社には入っていませんけれども、他社と比較しまして啓林館の導入の仕方などは具体的な活動のヒントなども含んでいて、これは一つ特徴なのかと、特色と言えるのではないかなと思いました。

以上です。

住田委員長 他にはありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、続きまして調査の観点、学習指導要領の教科の目標にかかわり、質問にもありましたけれども、表現する能力の育成や基礎・基本の確実な定着にもつながるノートの書き方の指導をどう扱っているかについて協議したいと思います。

ご意見をお願いします。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、先に私のほうからいいでしょうか。各社ともノートの書き方につきましては、その指導に非常に力を入れているようでありまして、東京書籍、それから大日本図書、教育出版、日本文教出版などは、授業の1時間分のノートの記載例を示していて、そこに吹き出しなどを使って書き方を示しているなど学びの習得を遵守しているように思われました。

また、東京書籍では、友達の手紙の工夫として問題の考え方や感想の事例を幾つか挙げてい

るところは特徴的だなというふうに思われました。

また、教育出版では、先生のコメント例を示して、このノートの良いところを具体的に載せているというような点は特徴と言えるのではないかなというふうに考えております。

他にはどなたかございますでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 各学校では、単に板書を書くのではなくて、自分の考えをノートに記入するというような形で指導するなどをしているわけですが、参考になるノートの例なんていうのは、例えばノートMVPなどと称して友達のノートを紹介するようなことをやっているわけですが、ここによりノートのとり方の例示がされているわけですが、私なんかこれを見ると、少しこの図形どうやって求めるのかななんていうのが、このノートの例を見たほうがわかりやすく表記されているので、いわゆるよいノートのとり方の例をこうやって紹介しているという教科書なんかを利用することについては、それだけ有効であるというふうに考えております。ですので、ノートのとり方だけでなく、考え方だとか感想を交えての例が挙げてあるということは、さらに効果的であるかなというふうに思っております。

住田委員長 他にはどなたかありますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、続きまして教科用図書の分冊と合本の違いについて協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

また、私のほうから言わせていただきます。

分冊と合本の問題につきましては、見通しのよさと復習がしやすいというなどの利点があります。しかし、一方では重たくなるということで、児童に肉体的な負担が大きいといったような欠点も考えられます。そこで、重いと思われるような数冊の教科書を実際に私もはかってみました。教育出版の6年生は472グラムありました。東京書籍の6年生は445グラム、学校図書の5年生は540グラムで、学校図書の5年生が一番重い教科書でありました。体格が小さい1年生の教科書で重いほうは、日本文教出版が388グラム、教育出版が300グラムで、その両者とも合本だったわけでありすけれども、重かったということでもあります。

こうしたことについては、その教科書の展示会場の中でもご意見が寄せられておまして、高学年の算数の教科書は合本のほうが見通しを持って指導できてよいというような複数の意見が寄せられていましたし、児童の負担を考えると1冊が500グラムを超えるものは、これは私が考えるところなのではけれども、いかがなものかなというふうな気もしております。

吉田教育長 では、私のほうから。

住田委員長 教育長。

吉田教育長 子どもの側、学習者の側からのお話だったと思いますので、私のほうはいわゆる指導

する側から少し他に申し上げますけれども、参考までにとのことですが、授業では新しい単元に入る場合に、例えば事前にレディネステストというのをやったりするのですが、それをやった結果、理解にばらつきがあると。あれば、既習事項を見直すことから始めて、それから新しい単元に入るというふうになると思います。その場合、新しい単元が、いわゆる同学年ではなくて前の学年の場合もありますし、さらには転入生がいると、違う教科書を使っていたなんていう場合もありますので、前の教科書を持ってこさせるということもあろうかと思いますが、事前にプリントを用意して授業を行うというふうにはなるとは思います。したがって、上下にまたがる場合も同様に対応していると思います。もちろん場合によっては、プリントでなく、教科書を使って既習事項を確認するというのも指導者の側でもあろうかと思いますが、

以上です。

住田委員長 他に協議したい事項はございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 他にないようですので、それではこれより算数の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室にご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

算数の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

A委員、いかがでしょうか。

A委員 東書でお願いいたします。

住田委員長 B委員、いかがでしょうか。

B委員 東書でお願いいたします。

住田委員長 それから、C委員。

C委員 東書でお願いします。

住田委員長 D委員。

D委員 東書でお願いします。

住田委員長 それでは、4名とも東書ということで意見が一致しておりますので、東書にしたいというふうに思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き理科に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

理科の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、理科の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。

鈴木選定委員（弥栄小校長） それでは、理科の教科書についてご説明させていただきます。

東書につきましては、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて、単元の導入においてインパクトのある写真やイラストを紹介し、生活経験や既習事項を示し、児童の学習の意欲が高まるように工夫されています。そして、実験や観察については、手順や用意するものが図や写真で示され、容易に入手できる器具、材料を利用して観察実験ができるようになっています。理科の学習は、生活や職業と深くかかわっていることを示す資料を載せています。

次に、内容の工夫ですが、「たくさんの発見をしたね」というコーナーを設け、次の学年や中学校の学習内容を系統的に記載しています。ノートの書き方等では、発達段階を考慮した書き方を示しています。観察実験については、器具材料の手順をまとめて示してあり、写真や図を使って観察実験の仕方を説明しています。単元の最後に「たしかめよう」のコーナーで問題を載せ、単元で得た知識が確認できるようになっています。

次に、資料ですが、絵や写真を見開きや折り込みページで載せています。そして、巻末に観察実験に必要な基礎技能が掲載されています。重要な技能は複数の学年にわたって記載し、理科の広場のコーナーで発展的な内容や実社会で利用されている内容が記されています。

次に、表記・表現ですが、全学年とも本文は敬体で記されています。未習の漢字には振り仮名がついています。そして、重要な用語は太字で示されています。文は単語や文節で改行しています。問題解決の各過程を大きな文字で示しています。各問題からまとめまでは線でくくられ、実験の手順は矢印で示されています。

総括の視点として、まず巻頭には学習する内容を区分ごとに系統立てて、まとめて示しています。巻末資料で言語活動にかかわる内容を掲載し、区分や話し合いの方法が身につくように配慮しています。そして、ICTを活用した授業場面をイラストで紹介しています。

続いて、大日本につきましては、まず初めの学習指導要領とのかかわりですが、単元の導入で学習内容に関する身近な現象の写真を既習事項を示し、児童の学習の意欲が高まるように工夫さ

れています。そして、自然に触れる体験的な活動や学んだ知識を活用して行うおもちゃづくりなどの科学的な体験を積極的に紹介して、実感を伴う学習ができるように工夫されています。

次に、内容についてですが、「ジャンプ」というコーナーを設け、既習の学習内容や次の学年や中学校で学習する内容を示しています。巻末に、次の学年の学習内容を記載しています。科学用語の説明等が図や写真で示されています。また、単元末の「たしかめよう」のページで、科学用語の説明等が図や写真で示されています。そして、同じく単元末の「たしかめよう」のページでは、学習したことをキーワード等のヒントを使いながら、自分でまとめるようになっています。

次に、資料ですが、絵や写真を見開きで配置したページが盛り込まれています。実験器具の使い方については、最初に使用する実験の記載部分に掲載されています。資料「ジャンプ」、「やってみよう」のコーナーがあり、実生活や実社会で利用されている内容を紹介しています。

次に、表記・表現についてですが、本文は3年生が敬体、4年生以上は常体で記されています。未習の漢字には振り仮名がついています。重要な用語は太字で示されています。単語や文節で改行をしています。

総括の視点からですが、巻頭では問題解決能力を踏まえた学習の仕方を紹介しています。問題解決の過程で意見を交換し合う場面を積極的に取り入れています。ICTの活用場面を設定しております。

次に、学図についてですが、まず初めの学習指導要領とのかかわりですが、単元の導入で学習内容に関する写真や既習事項、観察や実験で使うものを示し、児童が意欲的に学習に取り組めるように工夫されています。そして、理科が仕事や生活と関連する事象をコラムとして取り上げ、理科を学ぶ意義が捉えられるようになっています。

次に、内容にかかわる視点ですが、「考えよう」、「しらべよう」では、見つける、聞く、伝える等の学習方法が発達段階に応じて記され、考え方や発表の仕方等の連続性が見られます。観察実験の工夫が写真や図で示され、実験器具の使い方が各学年巻末にまとめて載っています。単元末に「ふりかえってみよう」として問題が用意されており、振り返りができるページの参照を表示しています。

次に、資料についてですが、絵や写真を見開きで配置したページが盛り込まれています。巻末には観察実験の基礎技能が掲載されています。重要な技能は複数の学年にわたって記載され、読み物、資料などには発展的な内容や実生活で利用されている内容が記されています。

次に、表記・表現についてですが、全学年とも本文は敬体で記されています。未習の漢字には振り仮名がついており、重要な用語は太字で示されています。問題解決の流れをページの両サイドに示しています。

総括の視点からですが、巻頭に問題解決学習の展開の基本を紹介しています。そして、巻末資料で記録の仕方や自分の考えの伝え方、相手の意見の聞き方を掲載し、思考力、表現力の育成を

図っています。ICTの活用も紹介しております。

続いて、教育出版ですが、まず初めの学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてですが、単元の導入では自然現象や学習内容に関する写真を示しています。アニメのキャラクターを用いたりして、児童が興味を持てるように工夫されています。そして、学習内容と関連した実生活の事象や実社会で活躍する人物などを数多く紹介しています。習得した知識や技能を日常生活に応用していくために物づくりをしたり、身の回りで見られる現象を説明する場面を設けたりしております。

次に、内容にかかわる視点ですが、単元の初めに学習のつながりを記載しています。6学年巻末で「中学校で学ぶこと」では、第1分野、2分野に分け学習のつながりをまとめています。観察・実験の様子が写真で示され、注意事項や取り組み方が明記されています。また、単元末に穴埋め式の「確かめ」があり、科学用語や学習の定着を確認できるようになっております。

次に、資料ですが、絵や写真を見開きや折り込みページへ載せています。巻末に観察・実験の基礎技能が掲載されております。各学年に1単元を取り上げたミニ図鑑が掲載されており、資料「科学の窓」のコーナーなどには、実用的な内容や発展的な内容が記されています。

次に、表記・表現についてですが、全学年とも本文は敬体で記されています。未習の漢字には振り仮名がついており、重要な用語は太字で示されています。問題解決の各項目をページ左に帯で表記して、学習の流れを可視化しています。

総括の視点からですが、巻頭では児童がみずからの問題を解決していくときの学習の流れを示しています。また、自分の考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりする児童同士の意見交換の場面を重視しています。ICTを活用した調べ学習の場面を紹介しています。

最後、啓林館についてですが、初めの学習資料要領とのかかわりについてですが、単元の導入では学習内容に関する写真が示されています。別冊に自分なりの考えを書き込んで、意欲的に取り組めるように工夫されています。そして、観察・実験では、用意するものを明記したり、手順を図や絵を用いて示したりして、見通しを持って活動に取り組めるようになっています。

次に、内容にかかわってですが、巻末に次の学年でどのような学習をするのか、何年生の理科に向けてを記載し、学習のつながりがわかるようにまとめています。観察・実験の手順が写真や図でまとめてあります。単元の最後に「たしかめよう」では、図での解説があり、自分の言葉でまとめたり、科学用語の確認をしたりできるようになっています。

次に、資料についてですが、絵や写真が多く載せられています。実験器具の使い方については、最初に使用する実験の記載部分に記載されています。「わくわく理科プラス」に器具の使い方を確認する場があります。

次に、表記・表現についてですが、本文は3年生が敬体で、4年生以上が常体で記されています。未習の漢字には振り仮名がついており、重要な用語は太字で示されています。単語や文節で

改行をしています。観察・実験の注意項目がマークで表現されています。

総括の視点からですが、巻頭では具体的な学習に入る前に問題解決の流れを示しています。また、観察・実験の予想計画、考察の場面では適宜話し合いを設け、具体的な発問を例示しています。ICTの積極的な活用を促すためのPCなどの活用場面をマークで示しています。

そして、次に、教科書の推薦でございますが、東書は写真や挿絵の質がよく、紙面構成で文字や資料の配置バランスがよいという理由で、そして学図・学校図書については、越谷市及び埼玉県、関東近辺の資料が多く載って、親しみやすく、観察・実験の流れがわかりやすいという理由で越谷市立の学校の実態に適合していると考え推薦いたします。

ご説明及び教科書の推薦につきましては以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、私のほうから幾つかお聞きしますけれども、越谷は竜巻ですっかり有名になってしまったのですけれども、その竜巻を含めました防災教育についてどのように扱っていくか、少しお願いいたします。

鈴木選定委員（弥栄小校長） まず、東京書籍につきましては、5年生の「台風と天気の変化」と「流れる水のはたらき」、6年生の「変わり続ける大地」で触れています。災害の写真がダイナミックであり、この3つの単元全てに「私たちのくらしと災害」という章を設けて、備えや対処について児童に考えさせるよう工夫されています。

次に、大日本図書ですが、5年生の「台風と天気の変化」、「流れる水のはたらき」、6年の「土地のつくりと変化」で、やはり災害について触れております。6年、「災害から身を守る」で2ページにわたって防災について触れております。

学校図書ですが、5年生、「台風の接近」、「流れる水のはたらき」、6年、「大地のつくりと変化」で触れています。台風、噴火、地震の災害の写真はダイナミックで豊富に掲載されています。防災については、防災マークを表示していますが、その3単元ともハザードマップについて取り上げております。

教育出版ですが、5年生の「川と災害」、6年、「地震や火山と災害」という災害だけを取り上げた単元を別に設定しています。防災については、やはりハザードマップについて取り上げております。

啓林館については、通常の学習内容に加えて、5年生で「気象災害からくらしを守る」、6年生で「地震や火山活動からくらしを守る」では、4ページずつ防災について掲載し、日ごろの備えや情報の集め方について詳しく説明しているところでございます。

以上でございます。

住田委員長 続いて、理科の関心とか意欲とかそういうものを高めるためには、特に単元の導入に

において絵とか写真の構成にはどんなような工夫がなされているでしょうか。

鈴木選定委員（弥栄小校長） 東京書籍につきましては、見開きで大きな写真を載せ、写真を見る視点や問いを吹き出しにより示しております。また、「思い出そう」というコーナーを設け、既習事項との関連のヒントを示しています。

大日本につきましては、見開き、または1ページに大きなイラストや写真を載せています。そして、単元を貫く学習課題を示しております。

学校図書につきましては、見開き、または1ページに大きな写真を載せています。そして、単元の主な学習内容と小単元の課題を示しております。

教出につきましては、見開きで大きな写真と小さな写真を組み合わせ、さまざまな事象を提示しています。また、「やってみよう」を設け、単元の導入課題を示しています。既習事項との関連記述もあります。

啓林館につきましては、見開きの大きな写真は、児童の活動や学校の様子などが中心です。また、単元で学ぶ内容を「学習のめあて」として示しております。

住田委員長 他にどなたか。

進藤委員。

進藤委員 近時、やはり子どもさんの理科離れであるとか、実験離れということが指摘されていますけれども、観察であるとか実験の活動を充実させるため、どのような工夫が各社見られるでしょうか、教えてください。

鈴木選定委員（弥栄小校長） 東書ですが、流れが問題、予想、実験・観察、結果、考察の流れが明確に示されています。そして、実験の方法の説明が大きくて見やすい。準備するものの一覧がチェックリストになっているので、進めやすいかと思います。

大日本ですが、同じく流れが問題、予想、実験・観察、結果、考察で示されています。特に実験の目的が短い文で記述されております。

学図につきましては、問題、話し合い、実験・観察、結果、考察の流れが明確に示されています。最初の2社の予想の部分が話し合いとなっています。準備するものの一覧がチェックリストとなっています。また、流れを示す部分に学習の確かめもついております。

教出については、流れは、問題、次は実験・観察、結果、考察となっています。予想は、吹き出しの形で掲載されています。同じく準備するものの一覧が記されています。

啓林館につきましては、やはり教出さんと同じで、問題、実験・観察、結果、考察の流れとなっております。予想は、吹き出しの形で掲載され、同じく準備するものの一覧が記されております。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがですか。

はい。

進藤委員 身近な地域の事象や事項を各社どのように取り扱っているか教えてください。

鈴木選定委員（弥栄小校長） 特に学図さんは、先ほども推薦理由に申しましたけれども、越谷をはじめ埼玉県内の事象や事項の写真が数多く掲載されているのが特色かと思います。そして、さつき少し述べ忘れていたのですが、啓林館につきましては越谷で発生した竜巻の写真も5年生のところに載っております。

以上でございます。

住田委員長 よろしいですか。

他にどなたかございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ質疑のほうを終わります。

選定委員のご退室を求めます。どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり及び資料にかかわり、質問にもあった単元の導入において関心や意欲を高めるためにどのような工夫が見られるかについて協議したいと思います。ご意見をお願いします。

それでは、私のほうから話させていただきますが、候補に挙がりました5社とも全部A B判というサイズになっていまして、この表紙の大きさを生かしまして各社とも見開き等で写真とか、あるいは絵を用いまして、かつてB 5判の時代があったのですけれども、そのときよりもずっとダイナミックに示しているように感じました。

各社の中で印象的なものとしましては、東京書籍では写真を見る視点や問いを吹き出しで示していたり、既に学習した事項を思い出そうという欄を設けて、楽に導入が図れるような工夫が見られます。

学校図書では、導入のページの単元に主な学習内容と小単元の課題をまとめて示すことによって、単元全体の見通しを持って学習ができるというような工夫がされているようです。

教育出版は、大小の写真を組み合わせて、さまざまな事象を示しながら、導入学習をしていると、そういう点がそれぞれ特徴があるのではないかなというふうに私は感じました。

他にはどなたか。

進藤委員。

進藤委員 少し多少形式的なことなのではけれども、各社、適宜、学習ナビゲーターという形でキャラクターものを登場させて、いろいろな学習のヒントあるいは進め方をキャラクターに語らせているなという工夫がありました。特にその中でも教育出版は、アニメキャラクターの鉄腕アト

ムであるとか、お茶の水博士を登場させて、子どもさんの興味を引くような工夫がされていると感じました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、調査の観点、内容にかかわり理科の本質にも迫る視点として観察・実験を充実させるための工夫について協議したいと思います。

ご意見をお願いしたいのですけれども。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、私のほうから内容にかかわる話とか実験・観察の充実に係るほうの私の考えを述べさせていただきますが、各社の印象的なことといたしまして、学校図書では4年の気温の変化で折れ線グラフに凹凸が見られたという点もいいですし、4年の終わりに5年生に向けて種まきの用意をする箇所を設けているなど、次の学年へのつながりに配慮が見られたというところに特徴があったと思います。

大日本図書では、3年の36ページに葉っぱの大きさを手のひらを使って見るという観察法を取り入れていることとか、4年の57ページには星座の発見に透明板がついていて、かなり実用的に使えるというような工夫が見られています。また、4年の137ページに動物の足跡等のフィールドサインが載っていきまして、自然観察に工夫がされているようです。それから、安全面では5年のペットボトルを切った箇所にセロハンテープを張るというような細かなところまでけがのないような注意が払われているということがうかがわれました。ただ、大日本図書は、実験記録のノート例が少ないように私は感じています。

東京書籍は、3年の終わりの部分に昆虫の切り絵を載せているのですが、理科として肝心の昆虫の腹とか胸、あるいは頭、足といったような基本的な定義にかかわる部分がどうも不鮮明になるように感じられます。5年の29ページには、菜種油とかバイオ燃料に触れているところは、環境学習とかそういう点にもつながるし、いいのではないかと、161ページには実験中の薬品とかやけどなどの事故の際に対する即応方法まで載っている点はよいかと思われます。しかし、5年生の子どもの出生、子どもが生まれると時の日数は38週、266日くらいとなるという記述があるのですけれども、一般に言われます正期産と言われるのは38から41週でありまして、280日が標準的であるので、この表現の仕方はいかなものかなというふうに思っています。

啓林館は、3年の8ページで五感、さわるとかそういう五感でありますけれども、使って観察する方法を紹介していますし、5年の子どもの出生は3,000グラム、50センチという記述はされておりまして、これは極めていくと思います。

6年の190ページのように算数とのつながりを図る工夫が見られますし、ワークブックに実験記

録をほかの社のように穴埋め形式でなく、記述をさせるというような方法がとられている点は、児童の自由な発想を促すものかというふうにも考えられます。また、ノート書き方例がいいのではないかなというふうに思っております。

教育出版は、6年の84ページに、他社では余り見られなかったのですが、ユニバーサルデザインの例にてこの利用が載っている点がよいなというふうに感じました。ただ、ノートの記載例があるのですけれども、少し小さいのではないかなというふうに感じています。私のほうとしてはそんなところですよ。

他には。

進藤委員。

進藤委員 いずれの出版社さんも、観察であるとか実験について、それなりの件数を取り上げて、イラストあるいは写真を対応して、わかりやすく非常に工夫がされていると感じました。中でも東書及び学図に関しましては、実験に準備するものに関しまして一覧表がチェックリストとして掲示されていて、非常にそういった意味では生徒さん、あるいは先生方にとっても使いやすいのではないかなと感じました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

教育長。

吉田教育長 委員長さんから詳細なお話があって、また進藤委員さんからも教科書会社の例を挙げながらご説明あったので、私のほうから特にはないのですけれども、1点だけ、東書と学図についての話が出ましたので、一番子どもたちがなかなか苦手意識があるところの電気の働きというのが、これは小学校4年生の東京書籍と、それから学校図書なのですが、小学生という発達段階からやはり観察・実験を充実させる工夫を考えていかなければいけないのですけれども、一つは操作が簡単であるということ、なおかつ操作の流れがわかりやすいということ、さらには子どもの理解に直結するような、そういう実験操作を取り上げることが大事だというふうに思います。それで、その視点で今言った学図のほうは41ページですか、それから東京書籍のほうは43ページでしょうか、これ少し見ていただくと、今よくわかるかと思うのですが、地図のところでも、この前の協議のところで話をさせていただきましたけれども、意外と簡単どころでつまずいている場合があるので、ただし教科書だけでやっているわけではないので、実験器具なんか使ったりしていますので補えるかと思うのですが、教科書だけで比べてみますと、例えばプラスマイナスが書かれているかというようなところで見ると、そういうところが結構どっちがプラスだとかマイナスなんてわからないとかでつまずいてしまうとか、あるいは直列と並列の仕方を全体的に表していなくて、一部ここを置きかえればよいよみたいな形で扱っている部分と、こちらは丁寧に全体を載せていますよね。こういったところに違いが出てくるかなというふうに思います。必

ずしも全部わかりやすいように1から10まで教えていいのかというところもありますけれども、そういった違いを見ながら選定することが大事なというふうに思っております。補足ですけれども。

住田委員長 他にはどなたか、いかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、調査の観点の総括にかかわり、子どもたちにとって身近な地域の事象等をどのように取り扱っているかを視点として地域に関連する事象や事項の取り扱いについて協議をしたいと思います。

では、また私のほうから言わせていただきますが、啓林館では地学領域を中心とした地域資料が載っていていいのですが、学校図書は印象深く感じられます。それは、理科という教科が始まるのは3年生なのですけれども、3年の少し見ていただければわかるのですが、裏表紙を見開きで幸手の土手桜と菜の花、これが非常に、表紙の裏です。そこです。大きく取り上げられていて、これが非常に印象的です。また、5年生の99ページには、利根川の上流から下流への変化で久喜市が出ています。これらは郷土の児童にとってかなりインパクトのある事項ではないかというふうに考えられます。

それから、地域というよりも、日本人の誇りといったようなほうがいいのかもしれませんが、各学年の表紙には学校図書は必ず3人の世界的著名な科学者が表紙に載っているわけです。そのうちの一人が日本人であると。こういうことは、科学立国をこれから目指していく日本にとっては、大変意味のあるものではないかなというふうに私は感じています。

他にどなたか。

進藤委員。

進藤委員 今、住田先生がおっしゃったところと少し重複してしまうのですが、先ほど選定委員の先生方からも説明があったように、学校図書に関しましては、多様な地域でも使用することが可能な配列になっていて、特に埼玉県という意味では資料であるとか写真が多いのかなということが印象に残りました。

また、啓林館に関しましては、昨年の例の竜巻の写真が掲載されている。それから、同様に末尾のところに、5、6年生なのですけれども、地域資料集という項目が設けられていて、それぞれの地方の特性がわかりやすく資料としてまとめられているということが非常に印象に残りました。

以上です。

住田委員長 吉田教育長。

吉田教育長 これは補足ですけれども、興味、関心を引くということでは、確かに身近な地域を取り入れるということは有効であろうかと思うのですが、学習指導要領で言っている身近な

事物、現象というのは、地域性のことだけを言っているのではなくて、むしろ自分の身の回りで起こる事物、事象を指しているということでございます。

住田委員長 他にはどなたか協議したいようなことはございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 今、教育長のお話を受けてということなのですからけれども、身近な例といえ、やはり地震であるとか、台風であるとか、火山のことであるとかということだと思いますけれども、災害ということも含めてということだと思いますけれども、このことに関しましては、いずれの出版社もやはり同様に上げていまして、ハザードマップということに関しまして、いずれの教科書も形とか取り扱いのボリュームは違っていても、全ての会社において採用されているなどいうことは感じました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより理科の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室のほうにご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、理科の教科用図書の採択に係る最終協議を行います、何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

最初に、A委員。

A委員 学図でお願いします。

住田委員長 はい、学図ですね。

B委員。

B委員 学図でお願いします。

住田委員長 C委員。

C委員 学図でお願いします。

住田委員長 D委員。

D委員 学図でお願いします。

住田委員長 4人全て学図ですので、学図に決したいと思います、これにご異議ございませんで

しょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き音楽に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

音楽の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室を求めます。

〔選定委員入室〕

住田委員長 本日はどうもありがとうございます。

音楽の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

大島選定委員（宮本小校長） それでは、音楽の教科書についてご説明をさせていただきたいと思っています。

まず、教育出版社・教出でありますけれども、学習指導要領の教科の目標とのかかわりということで、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の活動をバランスよく指導できるための教材の工夫についてですけれども、児童が共通事項を手がかりにして、楽曲の特徴や、そのよさを感じ取ったり、知的に理解したりしやすいように教材の選択や扱いが配慮されております。それから、音楽を愛好する心情や感性を育てるための教材の工夫ですけれども、全学年を通して我が国や諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種の教材が選定されております。鑑賞の学習につきましては、音楽に合わせて体を動かす活動が設定されており、楽しく活動できる工夫がされております。

それから、音楽活動の基礎的な能力を培うための技能にかかわる資料の工夫につきましてはですけれども、児童が把握しやすいようにリコーダーの運指とか音符、休符、記号などの新出事項が紙面脇にわかりやすく明示されております。

次に、内容についてですけれども、小中学校の学習の連続性、系統性についての配慮、工夫につきましては、発達段階に即した学習内容が系統的に配置され、学年内あるいは複数学年にわたって継続的、発展的に学習できるように配慮されております。また、就学前の学習や中学校の学習との関連性についても配慮されております。

基礎・基本の定着、確かな学力を育成するための配慮、工夫につきましては、全学年にわたって2つの題材群を設け、音楽の基礎的、基本的内容について学年を超えて繰り返し学習ができるように配慮されております。

次に、資料につきましてですが、本文と挿絵や写真、図など学習効果を高めるための配慮、工夫ですが、児童のイメージを喚起するような写真、それからイラストを豊富に掲載し、透明シートや両開きの折り込みページなどを設定したりと子どもたちが創造力豊かに学習できるように工夫されております。また、より広い視野を持って学習に取り組めるように、巻頭に国内外で活躍する音楽家からのメッセージが掲載されております。

次に、表記・表現につきましてですが、用語、漢字、記号の使用及び文章表現の発達段階に対する配慮、工夫につきましては、発達段階に応じた文章表記がされ、新出の事項はページ脇に色分けされており、多くの子どもたちにとって見やすく、学びやすい工夫がされております。また、言葉や歌詞の意味を損なわないように適宜、漢字や片仮名にルビが振られております。語尾は何々しようということで統一されております。字体、色遣い、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた配慮、工夫ですが、ＡＢ判の判型を生かして楽譜が大きく見やすく入り、配置されております。多くの子どもたちにとって、学びやすく工夫されております。共通事項の内容が色分けされ、学びのポイントが児童にもわかりやすく、また色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成となっております。

最後に、総括ですが、学力向上と学習の充実のための工夫、配慮という点につきましては、習得、活用の観点から全学年の主要部分を基礎的な内容を扱う題材群、それと学習を広げる題材群で構成し、各題材の学習を通して基礎的、基本的な内容が身につけられ、また言語活動の充実も図られるように工夫されております。越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切であると思われる点ですが、郷土の音楽や諸外国に伝わる音楽について、季節や暮らしとのかかわりを示唆するなどの扱いの工夫、それから他国を尊重する態度の育成につながるような配慮がされております。また、音楽を情動的に捉えながら、友達と心を合わせて表現したり、心を通わせながら学習活動、またアンサンブル活動が進められるような学習内容が設定されております。

次に、教芸・教育芸術社でありますけれども、学習指導要領との教科のかかわり、目標につきまして、まず、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の活動のバランスの教材の工夫ですが、音楽づくりの教材が大幅に充実され、題材内で歌唱、器楽、鑑賞と関連させながら、無理なく確実に授業で取り上げられるように配慮されており、子どもの主体性、それから創造性を育む学習活動の充実が図られております。音楽を愛好する心情、感性を育てるための教材の工夫ですが、発達段階に合わせた音楽づくりの学習の充実をさせることで、主体性、創造性を育む学習活動が展開され、音楽活動をする喜びを得られるように工夫されております。音楽活動の基礎的な能力を培うための技能にかかわる資料の工夫につきましては、楽器の紹介や奏法、それから鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどの運指が写真やイラストで大きく示されて、わかりやすくまとめられております。

次に、内容についてですが、小中学校の学習の連続性、系統性への配慮、工夫につきま

しては、6年間を通して段階的、系統的に学びが発展するように題材が構成され、前の学年の学びが、次の学年の学びにつながるように工夫されております。それから、また小学校、中学校を通した9年間のつながりにも配慮されております。

基礎・基本の定着、確かな学力を育成するための配慮、工夫ですけれども、基礎的、基本的事項を身につけさせる共通事項を踏まえ、具体的にどのような学習内容に活用するかがわかるように、題材、学習目標、学習活動文などに明確に示されております。

次に、資料につきましてですけれども、本文の挿絵、写真、図などの学習効果を高めるための配慮、工夫ですけれども、音の高さや音符が感じられるようなイラストが用いられ、視覚からもスムーズに学習に取り組めるように工夫がされております。また、より広い視野を持って学習に取り組めるように、巻末に鑑賞資料や代表的な作曲家の紹介が掲載されております。

表記・表現につきましてですけれども、用語、漢字、記号の使用及び文章表現の発達段階に対する配慮、工夫という点につきまして、発達段階に応じた文章表記がされ、語尾は何々しましょうの表記で統一されております。言葉や歌詞の意味を損なわないように適宜、漢字や片仮名にルビが振られており、記号や用語の表記も発達の段階に応じて別枠を設けて配置されております。字体、色遣い、レイアウト、ユニバーサルデザイン化に向けた配慮、工夫ですけれども、ユニバーサルデザインの理念に基づき学習内容として重要な部分が優先的に目に飛び込んでくるようにシンプルなデザインが採用されております。また、色覚特性の個人差が学習内容の理解に影響を与えないように工夫され、一般の児童にもわかりやすいような紙面構成となっております。

最後の総括ですけれども、学力向上と学習の充実に向けた配慮、工夫ですけれども、学力を身につけ、定着のために系統的な題材と、題材に即した教材が配置され、学年の中、学年を超えた学びのつながり、学びの深まりが得られるように構成されております。また、自発的な言語活動が促されるように工夫されております。越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切であると思われる点ですけれども、我が国の音楽文化のよさを感じ取り、日本人として誇りを持てるように、全学年を通して日本の音楽に関する題材が設定されております。また、グローバルな視点で音楽を捉えることができるように諸外国の音楽も取り上げられております。他者と協力して一つの音楽をつくり上げるという協働の学習ができるような配慮もされております。

以上ですけれども、よろしく願いいたします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

どなたかご意見ございますでしょうか。

〔「推薦したいところ」と答える者あり〕

大島選定委員（宮本小校長） 申しわけございません。推薦という点につきまして、少し抜けておりました。

住田委員長 はい、ではお願いします。

大島選定委員（宮本小校長） 音楽の教科書につきましては、教育出版社、それから教育芸術社、2社しかありませんので、こちらの中から選定していただくということになるかなと思います。よろしくをお願いをしたいと思います。

住田委員長 それでは、進藤委員、お願いいたします。

進藤委員 君が代について、それぞれの会社はどのように扱っていますでしょうか。

大島選定委員（宮本小校長） 教育出版社ですけれども、全学年、巻末に掲載されております。教育芸術社も同じように、全学年、巻末、最終ページに掲載をされております。ともに5、6年生高学年につきましては、伴奏譜つきということになっております。

住田委員長 他には。

櫻田委員。

櫻田委員長職務代理者 我が国の音楽についての扱いは、どのようになっているのでしょうか。

大島選定委員（宮本小校長） 教育出版社につきましては、各学年、題材として設定されております。1年生でわらべうた、2年生でおまつりの音楽、それから3年生では日本のわらべうたとか世界各地の子どもの歌、それから日本や世界に伝わる音楽、それから5年生では郷土の芸能や民謡、それから6年生では日本の伝統芸能ということで設定されております。

教育芸術社につきましても、全学年、題材として設定されております。2学年ごとに活動が発展できるように内容が提示されております。低学年では、やはりわらべうた、中学年では郷土の芸能や民謡、それから高学年では日本と世界の音楽ということで設定されております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 各社とも教材構成全体にどのような工夫が見られるのでしょうか。

大島選定委員（宮本小校長） 教育出版社ですけれども、各学年ともに主要部分、それから選択をすることができる部分と2つに分かれまして、そして、その主要部分ですけれども、基礎的な内容を扱う題材分、それから学習を広げる題材分というふうに2つの構成で基礎的な基本的な内容と発展的な学習というふうにされるように設定されております。

それから、教育芸術社ですけれども、学年を超えた大きな系統性を重視し、題材に即した教材を配置して、学びのつながりとか学びの深まりが得られるように構成をされております。

住田委員長 他には。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 共通事項の確実な定着を図るためにどのような工夫が見られるのでしょうか。

大島選定委員（宮本小校長） 共通事項につきましては、まず教育出版社ですけれども、それぞれの題材がありますけれども、題材のところに共通事項を手がかりとして学習できるように配慮さ

れております。また、共通事項についてのそのまとめが巻末に示されております。

教育芸術社ですけれども、共通事項を核としながら構成されております。具体的には教育出版社のほうですけれども、共通事項につきましてはそれぞれこちらのほうに色分けされて、題材の下に載せられております。それから、教育芸術社につきましては、それぞれ例えば3年生の曲の感じを生かした演奏をしましょうという題材がありますけれども、ここの中では題材の中に「拍のながれ」というふうに示されております。それから、学習目標には繰り返し曲の感じを生かし、それぞれ「拍のながれにのってえんそうしましょう」とか、繰り返しの変化とかまとまりのリズムということで、教育芸術社の場合には、それぞれ題材、それから学習目標、そして最後に活動文の中にそれぞれ示されているというふうに構成されております。

住田委員長 他には。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 学習意欲を高めるために、紙面の構成はどのようなになっているのでしょうか。

大島選定委員（宮本小校長） 教育出版社ですけれども、両社ともA B判の教科書のサイズになっておりまして、楽譜が大きく見やすく配置されている。それから、カラーユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっているということになっております。

それから、教育芸術社につきましては、学習内容の重要な部分が優先的に目に飛び込んでくるようにシンプルなデザインが採用されております。色覚特性の個人差が学習内容の理解に影響を与えないように工夫されているというところもあるかなと思います。

住田委員長 他には。

進藤委員。

進藤委員 両出版社ともA B判とはいえ縦判が何か5ミリぐらい違ってはいるのですが、それはさておき、教科書全体の構成及びページ数はどうなっていますか。

大島選定委員（宮本小校長） 教育出版社ですけれども、1、2年生が82ページ、それから3年生が85ページ、それから4年生以上が92ページというページ数になっております。

それから、教育芸術社ですけれども、全学年とも76ページというふうになっております。

以上です。

住田委員長 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 なければ質疑のほうを終わります。

選定委員、ご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「内容」にかかわり、音

楽活動の基礎的な能力の育成を視点とした「音楽活動の基礎的な能力を育成するための工夫が図られているか」について協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教材構成全体の特色で言いますと、教育出版のほうは基礎と応用というふうに大きく2つになっています。それに対して教芸は、学年を超えた大きな系統性を重視するというふうになっていて、題材と教材の関連がすごく大きな注意を払っていると思います。この題材、選曲のセンスという意味では教芸のほうがすぐれているなと思います。同じ一つの教材の中でも、例えば6年生で「おぼろ月夜」をやるのですけれども、教出のほうでは、単に単声なのに対して、教芸のほうは二部合唱になっています。曲によってはいろいろありますけれども、よりハーモニックで、曲自体を味わえるようにというのが教芸の特徴だと思います。

住田委員長 他にどなたか。

進藤委員。

進藤委員 学習指導要領において共通事項とは、表現と鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要な事項だと思われます。いずれの教科書におきましても、題材と共通事項とのかかわりが先ほど選定委員からの説明があるように、明確になるようにそれぞれの工夫がされていると感じました。

以上です。

住田委員長 他にはありませんか。

櫻田委員。

櫻田委員長職務代理者 共通事項についてですけれども、教出は巻末にまとめたページが用意されています。教芸のほうではやはりまとめられているのですけれども、繰り返し確実に習得させるというふうになっております。

住田委員長 他にはございませんか。

吉田教育長。

吉田教育長 教芸の5年生と6年生の4ページを見比べるとわかるかと思うのですが、つけ足しでするので同じことを言っているわけですが、ここに系統性というふうに書いてありましたけれども、これ豊かな心を響かせると、6年生のほうにも豊かな心を響かせる、以下同じように題材が学年は違っても一緒だと、こういうようなくくりになっているわけで、学年を超えて、これを系統性を重んじているというふうに表現しているというふうに思いますけれども、この点では繰り返し同じ題材を扱うために内容の補充、進化、これを図りやすいという特徴があるかなと思います。

また、同じ題材の中で、同じ音楽にかかわる情報とか、あるいは音楽を特徴づけているような要素及び仕組みといった共通事項、これを扱うために理解を深めやすくなっているかなというこ

とが特徴だと思います。補足です。

住田委員長 他にどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出の大きな特徴として音のスケッチという部分があります。例えば6年生ですと循環コードから音楽をつくるとか、音を組み合わせでつくとか、低音の同じものから音の構成を感じながらメロディーをつくっていくなど、子どもたちが楽しみながら、音の構成を感じながら楽しめるという特徴があって、大変おもしろいと思います。

住田委員長 他に。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、次の調査の観点、内容及び総括にかかわり、質問にもありましたけれども、我が国の音楽文化のよさを感じ取り、日本人として誇りを持てることを視点として、我が国の音楽の扱いがどうなっているかについて協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 我が国の音楽に係る教材数を比べると、全学年を通してのトータル数なのですが、教育出版社のほうは数は多いです。ただ、教育出版社は各学年とも教育学芸社よりも総ページ数が多く、全体の教材数自体も多いので、単純に数だけの比較というのは難しいのかなと感じました。

以上です。

住田委員長 他に。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出の日本風景の美しい写真というのは、大変インパクトがあって、学習の導入とか、学習の途中などで話し合いながら進めていくというように大変使えるかなと思います。

教芸は小さいのですが、楽譜とともに載っていて、1ページで全部できるようになっていて、これはこれで使いやすい。どちらもやはり日本の教材は写真が美しく、歌詞の意味も、今の子にとって歌詞は大変難しくなっていますので、その辺の歌詞の説明はどちらも大変すばらしくできております。どちらもすごく使いやすいと思います。

住田委員長 他にどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に、調査の観点、資料及び表記・表現を視点として、全体の構成及びページ数がどのようになっているかについて協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 各学年ともに教育出版社のほうページ数が多く、情報量、曲数もそうですし、あとイ

ラストであるとか写真なんかも多めであると感じました。

以上です。

住田委員長 他にどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 音楽の授業数なのですからけれども、学年が進むに従って減る傾向があります。

その中で教芸が全学年とも同じページ数であるということは、教芸についても学年の進行に応じて情報量を増やしているというふうにも言うことができるかなと思います。また、教出は豊富な情報量を特色としていまして、また教芸は精選された情報を特色としていると言えるのではないかと思います。

住田委員長 他にはどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他に協議したい事項ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、それではこれより音楽の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動をお願いいたします。

なお、秘密会の後、昼の休憩を挟みまして、次の種目の審議については午後1時に再開することといたします。

それでは、ご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、音楽の教科用図書の採択に係る最終協議を行いますが、何かご意見ございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

初めに、A委員。

A委員 教芸でお願いします。

住田委員長 教芸ですね。

B委員。

B委員 教芸でお願いします。

住田委員長 C委員。

C委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 D委員。

D委員 教芸でお願いします。

住田委員長 4人のご意見が一致しておりますので、教芸に決したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決します。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き昼休みを挟みまして、次の生活について協議を行いますので、昼休みが終わりましたらもとの会場にお集まり願います。

休憩 午後0時02分

再開 午後1時00分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

生活の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 生活の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

大友選定委員（大袋小校長） それでは、失礼いたします。生活科に係る教科書についてご説明させていただきます。

まず、東書につきまして、教科の目標とのかかわりでは、児童の体験を豊かにする資料が豊富で、目当てや活動事例を例示することにより、児童自身が行動目標を明確にすることができます。身近な人との交流や伝え合い活動の資料も豊富に例示されています。児童への言葉かけや板書など教師の指導支援の例を促し、気づきの質を高めるための工夫がなされています。

内容では、下巻の「べんりてちょう」で取材の仕方、手紙や電話の使い方、集めた情報を整理、分析する仕方など総合的な学習の時間につなげるページが設定されています。資料としては、図鑑を思わせる写実的な絵や枯れ葉の実物大の絵を用いて詳しく紹介しています。上巻の「ポケットずかん」は、切り離して活用できるようになっています。

表記・表現では、小単元名の語尾が何々しように統一され、学習活動を共通理解できるようになっています。また、植物の成長順序は、変形版ページにより写真を対比して成長を見取ることができるよう工夫されています。

総括として、「ポケットずかん」、「べんりてちょう」など主体的な体験活動を支える資料が豊富です。話し合いや振り返り活動などの例示もあり、言語活動をイメージしやすく構成されています。

大日本につきましては、教科の目標とのかかわりで伝え合い活動や話し合い活動の場を数多く例示し、自分の思いを持って主体的に取り組めるよう工夫されています。あらゆる画面で人と交流する活動内容になっており、人とのかかわりから自分のよさや役割に気づくことができるよう構成されています。自分の成長を振り返る発見カードも位置づけています。

内容では、上巻の最初は幼稚園からのつながりを考えた優しい図柄で表現されています。生活習慣の習得ができるよう「がくしゅうどうぐばこ」のページが設定され、課題別に項目が立てられています。

資料としては、各単元の右端に書かれている生活言葉に低学年児童が参考にできる言葉、言い回しや語彙などが豊富に記載されています。秋探しの単位では、木、葉、実の3点セットが示され、児童がつながりをイメージできるようになっています。

表記・表現では、大単元名の語尾が統一され、読みやすくなっています。各見開きの本文を強調し、児童の思考・心情に合った表現が工夫されています。

総括として、語彙力、表現力を高め、言語文化への理解を促すためのコラムを掲載し、ICT活用事例も取り上げています。自然の不思議さやおもしろさの実感など理解につながる要素や多様な学習場面が設定されています。

学図につきましては、教科の目標とのかかわりでは、活動の展開が4ステップで構成され、児童みずから課題を見つけ、みずから課題解決していく方法を身につけられるよう工夫されています。各単元の展開の中で、振り返り場面が設定され、体験で得られた気づきを表現し、交流することで質的に高められるよう配慮されています。

内容では、下巻で全体を通して児童みずから取材する構成になっています。説明や解説が詳しく、日記など記録の仕方も示され、他教科との連携が図られています。

資料として、栽培単位では、野菜、草花の成長過程が比較しやすいように写真の位置が固定され、種の状態から結実までの過程が理解しやすくなっています。さまざまな単元で児童同士の会話が挿絵で掲載され、状況に応じたコミュニケーション方法が理解できます。

表記・表現では、年間を見通せる目次表現を工夫し、領域と季節が一目でわかるようになっています。会話文につながりがあり、ストーリーとして学習内容を理解し、イメージしやすくなっています。

総括として、各大単元が終了した後、巻末の「きみならどうする」にジャンプする構成となっており、学習を実生活とつなげる工夫が見られます。学習カードや「まなびかたずかん」に自己評価欄を設け、自分への気づきを容易にしています。

教出につきましては、教科の目標とのかかわりで学習のねらい、ヒントや教科関連などがわかりやすく示されており、児童みずから学習意欲を持って探究的に取り組めるよう配慮されています。各単元末の「おうちでチャレンジ」では、学習したことを家庭や地域に広げ、自分と身近な人々とのかかわりに関心が持てるよう配慮されています。

内容では、上巻のぐんぐんポケットで1年生の児童に自立への基礎を育てるための言葉や道具の使い方、安全などが的確に示されています。下巻では、総合的な学習の時間で応用できる調べ方などが記載されています。

資料として、上下巻を通して授業の中での具体的な活動の様子を全体像として絵で示し、リアルな写真で児童の興味、関心を高めています。

表記・表現では、学習カードの記入例がサンプルとして作成した美しい文字を用いています。教科関連マークがナビゲートラインに記載され、「ふりかえる」、「おうちでチャレンジ」などの要素も位置を固定することで紙面の使用手順が統一されています。総括として、表現力育成のため、言語活動のほか、絵、体、歌での表現も取り入れています。書くことを意識して大きなカード例や書き込みのできる生活科ノートを掲載しています。

光村につきましては、教科の目標とのかかわりでは、活動の展開がホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成されています。生活上必要な習慣や技能は、活動する中で自然に身につくよう工夫され、児童の活動の見取り方やカードへの添え書き、学習環境の構成など教師のかかわり方が示されています。

内容では、上巻の初めに写真や絵が中心となり、入学した児童にわかりやすい資料提示となっています。

資料としては、さまざまな画風の絵が導入され、各単元で示される写真も迫力が感じられます。「どうすればいいのかな」のコーナーが時々示され、児童に考える機会を与えています。

表記・表現では、国語科との関連を意識した読点、句読点を適切に使用して、吹き出しの文章を詳しく書いたりしています。上巻本冒頭で歌に合わせた導入が工夫され、5曲のオリジナルソングも挿入して、耳、目、体を使って学習に参加できる工夫が見られます。

総括として、教えたり指示したりするのではなく、活動や気づきのヒントを示し、児童の主体的活動を促しています。伝え合う力を育成するため、目的と相手意識を明確にし、必然性のある場で双方向的な交流活動を意識して構成されています。

啓林館につきましては、教科の目標とのかかわりでは、活動の展開をわくわく、いきいき、つたえあおう、チャレンジの4段階に構成し、単元を通して活動が深められるよう配慮されています。さまざまなかかわりの中で起こり得る問題に、こんなときどうしようと考え、話し合い、判断することで生活上必要な習慣や技能が身につけられるよう工夫されています。

内容では、各単元の初めの見開き2ページに挿絵が示され、その単元で何を学習するのか一目

でわかり、学習内容を理解できるようになっています。下巻には、児童の観察ノートや振り返りノートが具体的に示されています。

資料として、別冊の「せいかつ たんけんブック」は、小型版の図鑑として郊外学習でも活用しやすくなっています。

表記・表現では、小単元名が縦書きに統一され、他の文との区別が容易となっています。学習の4段階の展開の紙面構成をマークと色で区別し、ストーリーが明確になるよう工夫しています。

総括として、表現力、言語能力の育成が意識され、コミュニケーション活動、言葉や文字で思いを表現する交流、振り返り場面の提示方法が多様に示されています。図鑑や資料は理科学習を意識した構成となっています。

日文につきましては、教科の目標とのかかわりで毎時間の学習目当てが示され、児童が主体的に課題に向き合い、問題解決に取り組めるよう構成されています。公園や商店街など身の回りの場所に繰り返しかわり、比べる活動を通して地域のよさに気づき、親しみや愛着が持てるよう構成されています。

内容では、「いちねんせいになったら」の単元で基本的生活習慣を身につけさせる構成となっています。巻末の「なんでもずかん」では、総合的な学習の時間へのつながりが意識され、学習のまとめ方も示されています。また、地震や火事が起きたらどうするといった安全面の内容も含まれています。

資料として、児童の観察ノートや振り返りノートを多数掲載し、児童が書くとき参考となるよう配慮されています。見開き3から4ページを使い、全体像を見せる構成にもなっています。

表記・表現では、活字の色、大きさ、種類に変化があり、点字や文字を凹凸で示す工夫が見られ、内容の読み取りが容易になるよう配慮されています。

総括として、カード、写真、絵、立体作品などさまざまな表現方法でのまとめ方を例示し、表現力の育成を意識しています。巻末には、どの単元でも使用できる「なんでもずかん」を設け、発展的な項目も記載しています。

次に、教科書の推薦でございますが、東書は児童の体験、交流、伝え合い活動を豊かにする資料が豊富であり、児童の気づきの質を高める教師の指導、支援の例がしっかり提示されているという理由で、学図は活動展開が4つのステップで構成され、児童が課題を持ち、見通しを持った学習を展開でき、自己評価欄により自分の気づきを引き出すことができるという理由で、越谷市立小学校の実態に適合していると考え、推薦いたします。

ご説明及び教科書の推薦につきましては、以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

どなたか。

堀川委員。

堀川委員 低学年向けの教科ということで、今、説明の中にもあったかもしれませんが、済みません。もう一度、自立への基礎を養う配慮、各社どのようになっておりますでしょうか。

大友選定委員（大袋小校長） お答えいたします。

東書では、見る、触れる、遊ぶ活動が写真や吹き出しによりわかりやすく表されておりまして、学習上の自立への基礎を養うことができるような配慮になっています。「やってみよう」という活動の対象を拡大するページも用意されています。

大日本では、つくる、遊ぶ活動が説明図でわかりやすく表されており、これも学習上の自立への基礎を養うことができるような配慮かと思います。

学図では、学習や体験を自己評価できる「まなびかたずかん」が工夫されており、生活上の自立への基礎を養うことができるような配慮がなされており、問題意識を持って学ぶ学び方を見つける工夫もなされています。

教出では、「たねに なって みよう」など表現の例がわかりやすく表されており、学習上の自立への基礎を養うことができるような配慮がされています。

光村では、遊ぶ活動が写真で複数表されており、学習上の自立へと向かうよう配慮されています。

啓林館は、探す活動や安心、安全について別冊「たんけんブック」にまとめられており、学習上、また生活上の自立への基礎を養うことが配慮されています。

日文では、振り返りカードや感想文などの表現する活動の例が表されており、学習上の自立への基礎を養うことができる、そんな配慮がなされているかと思います。

住田委員長 堀川委員。

堀川委員 ありがとうございます。同じくやはり低学年を対象とした教科ということで、その表現とか構成について何か配慮、工夫が見られますでしょうか。

大友選定委員（大袋小校長） お答えいたします。

東書では、小単元文の語尾を何々しように統一し、学習活動を共通理解する助けとしております。

大日本では、ルビの振り方に国語科との接続の配慮がありまして、上巻には片仮名にもルビを振っております。

学図では、会話文につながりがあり、ストーリーとして学習内容をイメージできるような工夫がなされています。

教出では、学習カードの記入例は手本となるような美しい字体で示されています。

光村では、国語科との接続の配慮が細くなくされ、読点、句読点を適切に使い、吹き出し等の文も丁寧な扱いがなされています。

啓林館は、漢字は既習、未習の区別が明確になされており、吹き出し内は全て中央揃えで、読みやすい表現がなされています。

日文は、上巻から漢字はルビつきで表記され、漢字の色、大きさ、種類なども細かく使い分けられています。

住田委員長 他にいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 生活習慣や生活の技能が身につけられるようにというような配慮がされているでしょうか。

大友選定委員（大袋小校長） お答えいたします。

東書では、巻末に「べんりてちょう」が設定されていて、乗り物の乗り方ですとか、ＩＣＴ機器の使い方など生活上必要な習慣や技能が身につけられるよう配慮がなされています。

大日本では、巻末に振り返りカードや自分発見インタビューカードなどが工夫され、自分のよさに気づかせる配慮が見られます。「せいかつことば」というコーナーもありまして、語彙力、表現力の育成にもつながっています。

学図では、「生活科まなびかたずかん」が巻末にあり、生活上必要な習慣や具体的な学び方を身につけさせる配慮が見られます。「ものしりノート」のコーナーもあり、学習体験を広げる工夫がなされています。

教出では、「ぐんぐんポケット」が設定され、生活上必要な技能が写真でわかりやすく掲載されています。

光村では、生活上必要な習慣や技能は活動する中で自然と身につくよう工夫されておりまして、配慮事項にはびっくりマークのようなマークを使って呼びかけもなされています。

それから、啓林館では、巻末の「いきいきずかん」で記録の仕方や生き物の扱い方、飼い方などが図示され、学習上必要な技能が身につけられるような配慮がなされています。

日文では、巻末の「なんでもずかん」で写真が効果的に活動され、集団における自分の存在の気づきや学習上必要な技能が身につけられるような配慮がなされています。

以上です。

住田委員長 他にどなたか。

堀川委員。

堀川委員 生活科、いろんなところへ出かけたり、育てたり、遊んだりという中で、発見したり、やはり気づきというところが大事かと思うのですが、その質を高めるという工夫を各社どのようにされておりますでしょうか。

大友選定委員（大袋小校長） お答えいたします。

東書では、児童の気づきを認め、その気づきの質を高めるための教師の言葉がけや、支援、指

導の例を例示しております。

大日本では、自然の不思議さや仕組みに気づくよう写真やイラスト、吹き出しが工夫されています。

学図では、気づきをイラストのつぶやきとして示して、他教科と関連した表現方法を多く例示することで、子どもたちが願いを表現しやすいよう工夫されています。

教出では、上巻で見つける、比べる、例える活動、下巻ではつくる、比べる、例える、繰り返す活動を多く構成するよう工夫されています。

光村では、個人の体験活動と友達との体験活動を組み合わせた内容をバランスよく計画し、事業づくりの参考例も明記されています。

啓林館では、資料が大変豊富で、活動のヒントや考えを促す工夫がなされています。

日文では、発達段階に応じた子どもたちなりの問題解決の場面を数多く取り入れております。

以上です。

住田委員長 堀川委員。

堀川委員 ありがとうございます。

最後に、学習スキルの紹介や図鑑的な内容のページについて少し教えていただければと思います。

大友選定委員（大袋小校長） お答えいたします。

それぞれの会社で特設のページをたくさん設けておりまして、まず東書では巻末に「べんりてちょう」や「ポケットずかん」を設け、基本的な学習スキルや安全配慮について示しております。「ポケットずかん」は切り離しが可能な形になっています。

大日本は、巻末に「がくしゅうどうぐばこ」を設けまして、基本的な学習スキルや図鑑的な内容を掲載しています。

学図では、巻末に「まなびかたずかん」を設け、基本的な学習スキルや安全配慮について詳細に示しています。ところどころに「ものしりノート」を掲載し、活動や表現の広がりを引き出そうとしています。

教出は、巻末に「ぐんぐんポケット」があり、基本的な学習スキルと学習の要点などが示されています。

光村は、巻末に「きせつの おくりもの」を設け、季節を追った動植物を紹介しております。

啓林館は、別冊として「生活科たんけんブック」を用意し、図鑑的な内容や安全配慮を示しています。巻末に「わくわくずかん」も設け、基本的な学習スキルや学習活動の広がりを示しています。

日文は、巻末の他に単元の中にも「なんでもずかん」を設け、写真や絵で活動意欲を高めるよう工夫されています。

以上です。

堀川委員 わかりました。

住田委員長 他にどなたかありませんか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑を終わります。

選定委員のご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 大変恐縮でございますが、要項の5ページ、生活の種目に光村の掲載がございませんでしたので、一応お知らせいたします。

それでは、協議のほうに移りたいと思います。

初めに、調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわりにかかわり、生活科の狙いである具体的な活動や体験を通して課題意識を持たせるため、どのような工夫が見られるかについて協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 課題意識を持たせるための工夫ということで、東京書籍や教育出版は単元の導入時において児童に上手に気づかせてあげる、そういったものを大切にして、児童に寄り添ったような記述になっているのではないかと思います。

また、今のご説明にもありましたけれども、写真やイラストから発している子どもたちの言葉というものが、その気づきのヒント、また考え方などをすごくわかりやすく導いているのではないかなというふうに感じました。

住田委員長 他にはどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 どの教科書も大変色鮮やかで、写真が豊富で、絵本のように楽しく、児童の具体的な活動や体験をうまく促していると思います。特に単元の導入において、学図や教出で児童の活動場面の写真を大きく掲載していたり、あと児童のつぶやきや児童の投げかけを示して、どちらも学習意欲を注ぐようにうまくできていると思います。

住田委員長 他にはいかがですか。

教育長。

吉田教育長 生活科では、何回も繰り返されていますけれども、活動や体験を通して人生の基礎を養うこと、これが教科の目標であり、したがって気づきを大切にして、その質を高めることを重要視しています。また、この気づきの質が高まることによって課題解決が進み、次への活動につながっていくことから、この点について各社の工夫を見るとよいというふうに思います。

住田委員長 他にはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、調査の観点、資料にかかわり、体験活動を支える視点として具体的な活動や体験を促し、支援するための資料について協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 各社ともにものすごく写真が大きくて、きれいで、人物の表情がとても生き生きとしていたり、植物や昆虫などもはっきり見ることができました。子どもたちがとても楽しく学習できるのではないかなと感じました。また、とても季節感を大事にしていって、季節ごとの植物、昆虫などがとてもきれいに添付されていたと思います。

東京書籍の「ポケットずかん」は切り離しができるということでしたし、啓林館の「いきいきずかん」は出かけていろんなことを学ぶといったときに、とても持ち運べるという点でいいのではないかと思いますし、啓林館の「ポケットずかん」を見たときには付録のうれしさみたいなものを感じました。これを持ってどこかへ出かけたいなというような気持ちにもなりました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 学図なのですが、それでも、「まなびかたずかん」というのが後ろのほうに載っていきまして、これに16ページも当ててありまして、基本的な上手な話し方とか聞き方とか、そういう見る、探すという基本的な学習スキルや安全配慮について一括して詳細に示しているのが大変いいと思います。また、児童が自分で一つ一つの項目をチェックするようにできていて、できたところに丸をつけるようになっているので、大変まとまっていてわかりやすいかなと思いました。

住田委員長 他にはどなたかありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、次に調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり及び表記・表現にかかわり、子どもたちの自立への基礎を養う視点として、児童一人一人の自立への基礎を養うためのきめ細やかな配慮がされているかについて協議をしたいと思います。ご意見をお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 生活科は1、2年生のみの教科ですので、3年生以降は社会、理科など総合的な活動に発展する基礎と捉えています。教科用図書も低学年の教科ならではの工夫と配慮に満ちていると思います。表現の構成上では各社特色があるようですが、例えば光村は国語の教科書がよく使われていきまして、越谷でも長いこと光村を使っていますが、生活科も国語の光村も国語科との関連というか、配慮がきめ細かいというふうになっております。それが光村の特

色ではないかなと思いました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 東京書籍や、また学図さんでは、単元名のつけ方が「あしたもたのしみだな」とか、「町のすてき大はっ見」とか「みんなのすてき発見」とか単元名のつけ方が非常に子どもに寄り添った感じで興味を持ちやすいように工夫されているのではないかなと思いました。また、学図は、チェックリストがついていて、振り返り学習ができるというのもすごくいいのではないかなと思いました。

他に日文は、食育や防災など今日的な課題にも触れているというのは、少し特色かなというふうに感じました。

以上です。

住田委員長 他にどなたか何かございますか。他に協議したい内容はございませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他にないようですので、それではこれより生活の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動願います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、生活の教科用図書の採択に係る最終協議を行います、何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

初めに、A委員。

A委員 学図でお願いします。

住田委員長 学図ですね。

B委員。

B委員 学図でお願いいたします。

住田委員長 C委員。

C委員 学図でお願いします。

住田委員長 D委員。

D委員 学図でお願いします。

住田委員長 4人とも学図というご意見で一致しておりますので、学図に決したいと思います、

これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き図画工作に係る教科用図書の採択について審議いたしますので、もとの会場にご移動をお願いします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

図画工作の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 図画工作の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。

黒須選定委員（大相模小校長） それでは、図画工作科の教科書についてご説明させていただきます。

初めに、開隆堂につきまして、学習指導要領の教科の目標とのかかわりです。その項目から説明いたします。

1つ目は、作品制作の過程の写真を掲載することや、「考えを広げて」などのマークで発想方法のヒントを示すことで児童の工夫が引き出され、自立的な活動が促されるようになっています。

2つ目として、題材名や主文に活動のイメージを持ち、興味、関心を喚起させる工夫がされています。「道具箱」、「パレットコーナー」などにおいて用具、材料の技法がまとめられており、わかりやすくなっております。また、大切にしたいことや育てたい力、思いつく力、工夫する力、協力する力を3つのマークを用いて示し、教師にも児童にもわかるよう工夫されています。

3つ目として、目次に用具や材料、内容項目、3つのマークが提示され、1年間の見通しを持つことができるようになっています。「小さな美術館」、「みんなのギャラリー」、「ゆめをかたちに」など年間を通して使用できる資料が掲載されています。

内容についてですが、6年間で指導要領に示された用具や教科の経験を積み、系統的に児童の力を培えるよう題材が設定されています。5、6年上下には、中学校美術で学ぶ遠近法や構図のとり方、色相環につながる考え方も楽しく学習したり、中学校技術家庭科につながる内容も扱っております。

2つ目として、「道具箱」、「パレットコーナー」などで工作や絵を描く活動に必要な基礎・基本の知識や技法がまとめられ、各題材の中にも必要な材料や用具の扱い方など表現技法を示すことで造形的な創造活動の基礎的技能を培えるよう工夫されています。

3つ目の資料についてですが、児童の多様な活動の姿や、そのときのつぶやきや思いを紹介したり、児童の作品を多く提示したりすることで児童の発想のヒントとなるように工夫されています。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるよう、それぞれの題材ページに基礎・基本的な資料を囲みで記されています。

4つ目の表記・表現についてでございますが、1つ目は字体がはっきりしており、文字が大きい表記になっております。教科書が大判で、写真も大きく見やすく、種類も豊富です。教科書全体の表記が学年に応じた言葉遣いになっており、親しみやすいです。目次には、目当てや資料材料が掲載されており、見やすい表記になっております。表紙の副題の字体が大きく、美的感覚や情操が刺激されるようになっております。写真は光を抑えた印刷でしたが、文字の色ははっきりしており、とても見やすく、色覚についての配慮がされており、特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構の監修も得ています。安全面や後片づけなどの配慮すべき点も図や写真で示されておりました。

5番の総括ですが、「ふりかえってみよう」、「ふりかえって、はなしあおう」が全学年の各題材の最後に設定され、言語活動を充実させながら、児童自身が学びを確認できるよう配慮されています。デジカメやタブレット型コンピューターのICT機器を用いた作品も掲載されております。活動の見通しと振り返りの観点を設けることで、みずから思考、判断する状況が設定されております。児童が試行錯誤を繰り返しながら、表現方法を自己選択、自己決定できるような題材が設定されています。本図書は、児童が心を開き、納得のいく活動を追究、発見、表現することを大切にしていると思います。

続きまして、日文でございます。1つ目の学習指導要領の教科目標とのかかわりですが、日文さんは「チーロさん」というキャラクターを設定し、発想や構想を広がりにくいときのヒント、工夫するときの手だて、鑑賞する視点などを投げかけ、児童が主体的に活動できるように工夫がされています。児童や教師が制作内容を理解しやすい題材名であること、「使ってみよう材料と用具」に用具材料の技法がまとめてあり、内容が豊富で充実しております。「学習のめあて」を設定し、活動中にいつでもそこへ戻れるようになっております。また、「気をつけよう」、「用具のマーク」などアイコンを用いて、児童でもわかるように工夫されております。

3つ目として、目次に活動の様子の写真、内容項目がアイコンで示され、1年間の見通しを持つことができるようになっております。「教科書美術館」や「ぞうけいのもり」には製作のヒントができるような多様な形や色、写真が掲載されており、それを見ることで想像が広げられるようになっております。

2番目の内容についてでございますが、これは6年間で指導要領に示された用具や材料の経験を積み、系統的に児童の力が培えられるよう題材が設定されています。5、6年上下には、中学校美術や技術科との関連を配慮したページもあり、造形教育としてのつながりを意識しています。

2つ目として、「使ってみよう材料と用具」で児童の発想や構想、創造的な技能を支える材料や用具の扱いがより詳しく示されています。また、各題材の中でも必要な技法や知識を写真や説明文で示すことで、児童が主体的に活動できるよう工夫されております。

3つ目の資料についてですが、児童が発想したり、活動や鑑賞したりする際のきっかけとなる言葉を吹き出しなどに提示することで発想力を刺激し、多様な表現ができるよう工夫されております。児童の活動の様子がわかる写真をたくさん掲載しており、「使ってみよう材料と用具」を設けたりして活動の流れがわかるように示されております。また、材料の用具の扱い、制作手順についてイラストで示され、説明文もあるために、児童にとってはわかりやすい工夫がされております。

表記・表現についてですが、字体に丸みがあり、読みやすい表記になっております。ページ数も多く、写真の種類も豊富です。教科書を開くと見開きで題材が構成されており、学習の準備や手順もわかりやすく示されております。学年に応じて文字の大きさや文字量が増えています。目次は全学年共通で、内容項目をシンプルなマークで表して、見やすい配慮がされております。表紙の題字が低学年では平仮名で「ずがこうさく」、高学年では漢字で「図画工作」となっており、文字が統一されているため、図工の教科書ということがすぐわかるようになっております。文字の色はパステル色ですが、色覚に配慮した色遣いになっております。

5番の総括ですが、「学習のめあて」に伝え合うことを示してあり、授業で言語活動の充実が図れるよう位置づけてあります。児童が作品について語るときのヒントとなるようなコメントも記されております。デジカメやパソコンを用いた作品やICT機器の利用方法が記載されております。活動の情景が多く掲載されており、活動の入り口から出口まで全ての場面がひとしく学びの場であることを示すレイアウトになっています。各題材を通してみずから学べるような工夫がされております。道徳教育との関連が意識され、アイコン、道徳マークを用いて題材に示されております。

以上、2社の説明をいたしました。図工の選定委員会からは担任が図工を指導するには開隆堂が使いやすく、図画工作科を指導するには、専科が指導するには日文が使いやすいというご意見も出ておりました。ただ、教科書の推薦でございますが、2社とも越谷市立小学校の実態に適合していると考え、推薦いたします。

以上、説明及び教科書の推薦につきまして終わりにいたします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。いかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 言語活動の充実を図るための工夫がいろいろあると思いますが、どのようになっているのでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） 開隆堂のほうは、各題材の最後に「ふりかえってみよう」、または「ふりかえって、はなしあおう」が設けられており、言語活動を充実させながら、学びが確認できるようにつくられております。

日文のほうは、題材ごとの「学習のめあて」に伝え合うことを示してあり、また作品に込めた思いや工夫などを紹介するコメントが掲載されております。子どもたちが自分の作品について語る際のヒントとなるようにつくられております。

以上でございます。

住田委員長 他にいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 学習指導要領上の共通事項についての各社の取り扱いはどうなっていますか。

黒須選定委員（大相模小校長） 共通事項、図画工作科の特色でございますが、色、形、イメージを表している活動ということで、2社ともに特定のページだけでなく、教科書全体を通して取り扱われております。子どもたちが色や形、光などを捉えられるような作品、それから写真、コメントなどが掲載されておまして、これらから得られた感覚からイメージを広げ、活動できるように工夫されていると思います。

住田委員長 他には。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 鑑賞題材の特徴としては、どうでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） 開隆堂のほうは、鑑賞題材は巻頭の部分に全学年とも「小さな美術館」という項目と「ゆめをかたちに」を収録しております。

日文のほうは、巻頭に「児童の活動」と「教科書美術館」を収録しております。特に1、2年生は活動が3ページ、美術館が2ページの順で、3、4年生は5、6年が美術館3ページ、活動2ページの順で掲載されております。どちらの会社とも巻末には用具や材料の扱い方や基本的な技法を収録しております。

以上でございます。

住田委員長 どうぞ、櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 児童の発想を引き出すための工夫はどのようになっているのでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） 開隆堂のほうは吹き出しをたくさん使っておまして、制作過程の思いを細かく記述したりすることにより、発想や工夫を具体的に示しております。また、単元の導入部に児童の発想を広げようとする工夫が見られております。

日文のほうは、「チーロさん」というキャラクターに制作や鑑賞時のヒントなどを語らせることにより、発想や工夫を具体的に示しております。また、単元の導入部に児童の制作意欲を高めようとする工夫が見られております。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 図画工作というと、どうしても例えばはさみを使ったりであるとか、彫刻刀を使ったりであるとか、工具類を使ったりとかということではいろんな道具を使って、けがの可能性があったりするわけですが、そういった安全面に関しましてはどのような配慮がなされていますでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） 安全面について、開隆堂のほうは安全面や後片づけなどについて配慮すべき点が、安全という安全マークを使って写真やイラストなどで表示されております。

それでは、日文のほうは、材料や用具について安全に取り扱うことができるよう全ての題材に今度は気をつけようとか片づけのアイコンを活用して文章で丁寧に表しております。

住田委員長 他にはいかがですか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になれば質疑のほうは終わりにいたします。

選定委員のご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、その資料にかかわって学習効果を高める資料の工夫という視点から、巻頭及び巻末の構成について協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 開隆堂ですけれども、巻頭は「小さな美術館」として鑑賞教材とともに、あと、それから制作にかかわる作家の思いというものをここに伝えてあります。作家からのメッセージを伝えるということは、作品をつくる人の思い、それを触れさせることはとても児童にとって大切ではないかなと思います。これはすごく特徴があっていると思います。

また、日文の低学年は、児童の活動の写真がたくさん載っていることによって、自分たちもつくろうというその意欲に結びつくと思います。また、高学年になると鑑賞の絵になっていて、順序や分量の割合を変えていて配慮されているなと思いました。

住田委員長 他にはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次の協議のほうに移りますが、調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり及び内容にかかわり、子どもたちにとって充実した学習活動が展開されるという視点で学習活動を充実させるための工夫がどうされているかについて協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 先ほどの選定委員の先生のお話にもありましたように、学習指導要領上の共通事項の取り扱いについては、開隆堂も日文でもさほど大きな差は見られないように感じました。

以上です。

住田委員長 櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 開隆堂では、吹き出しを対応したり、制作過程の思いを細かく記述することによって、製作や鑑賞の過程を大切にしようという、そういう傾向が見られると思います。

また、日文のほうでは、キャラクターに製作や鑑賞時のヒントなどを語らせることによって、親しみやすい表現で児童の意欲を引き出そうとする傾向が見られます。

住田委員長 他には。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次の調査の観点、総括とのかかわりで、図画工作における言語活動の充実という視点から、言語活動の充実を含めた友達と学び合うための工夫がどのようにされているかについて協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 開隆堂では、各題材の最後に「ふりかえってみよう」と「はなしあおう」という言語活動の充実について、具体的な学習活動を設定していて、友達と学び合う活動を確実に実践できるように配慮されていると思います。

住田委員長 進藤委員。

進藤委員 日文に関しましては、「学習のめあて」という項目の中で話し合う活動を取り込んでおります。単元全体として友達と学び合う配慮が、その辺で見られるのではないかなと感じました。

以上です。

住田委員長 他に何か協議したい事項ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより図画工作の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。秘密会とするため、教育委員は別室へご移動お願いいたします。

なお、秘密会の後、休憩を挟み、次の種目の審議については、午後2時15分より再開することといたします。

住田委員長 それでは、これより秘密会といたします。

それでは、図画工作の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

A委員。

A委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 開隆堂ですね。

B委員。

B委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 C委員。

C委員 開隆堂でお願いいたします。

住田委員長 D委員。

D委員 開隆堂でお願いいたします。

住田委員長 4人とも開隆堂ということで意見が一致しておりますので、開隆堂に決したいと思いますが、これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

休憩後、引き続き家庭科に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動願います。

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

家庭の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 家庭の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

小倉選定委員（蒲生小教頭） それでは、東京書籍について報告します。

学習指導要領の教科の目標とのかかわりという観点では、児童の調査や実習などの活動を多く取り入れ、実践的・体験的に学習が進められるように工夫されています。児童が学んだことを家庭生活に生かしたことの紹介や、自分の家庭の食事の発表など児童の実生活につながった学習になっています。また、主な調理用具、生ごみの片づけにエコを意識した生活のヒント等を細やかに示されています。

「いつも確かめよう」のコーナーでは、基礎的・基本的な知識や技能のポイントがまとめて示

されており、わかりやすくなっています。家族を大切に作る心情が育まれる工夫がイラストの人物の吹き出しなどに示されています。また、「D o ! 活動」という欄が多数あり、児童の実生活での課題解決学習に役立つよう示されています。

内容という観点では、最後に小学校5、6年の学習を振り返り、関連マークを用いて写真やイラスト、児童の言葉で学習の内容がまとめられています。さらに、中学校での学習の一部を紹介して、これからの学習の意欲づけになっています。また、キャリア教育という点では、「プロに聞く！」というコーナーで、実際に働く人の紹介があります。

基礎・基本となる技能については、児童の実物大の手の写真があり、自分の手と写真を並べて、いつでも針の持ち方や包丁の持ち方を確認することができます。また、左ききの写真も同様に掲載されています。

1食分の献立調理例では、日本の日常的な献立だけではなく、海外の料理のアレンジ等、多彩なメニューが示され、児童への意欲づけになると思われます。

栄養素の学習では、授業で何度も繰り返し参照する6つの基礎食品の図は、食品の種類が他社に比べて多く、活用しやすいように工夫されています。

資料ですが、先ほどと重複しますが、「いつも確かめよう」のコーナーで児童の手の実物大の写真があり、手元で自分の手と比べながら包丁を持ったり、縫い物をしたり作業ができるようになっています。また、2ページ見開きで学習の流れや全体像がわかり、計画的に学習できるようにすっきりとレイアウトされています。リンクのマークで他の単元や他の教科との学習の関連もわかるようになっています。家庭の経済については、資料も豊富で、学習の進め方のヒントとなる例が示されています。

表記・表現の観点では、難しい漢字には振り仮名があり、難解な言葉には文中のコメ印で注釈がついています。「何とかです」、「ます」が基本になっていますが、「何々しましょう」のような呼びかけの言葉も多く用いられています。また、何々かな、何々したよ等の親しみやすい話し言葉の表記も使われています。ページ数は、他社に比べて16ページ多く、挿絵、写真資料等のページ数も多く、裁縫の基本やミシンの使い方等大きく提示され、見やすく感じました。文字は読みやすいユニバーサル書体が使われ、写真、イラストは淡く、見やすい色遣いです。マークは色別で見やすく配慮され、児童の作品例が写真で大きく示され、親しみやすく感じます。総重量219グラム、厚さ5ミリ弱で、他社と比較するとページ数は多いのですが、やや薄く、軽く、見開きで活用しやすく製本されています。

総括として、越谷の児童が学習するという観点からは、考えたり、話し合ったりする場面が多く設定され、言語教育の充実を図る工夫が見られます。個人の考えを記入するワークシートのようなコーナーが多数あり、発表の前の考えをまとめるメモ等にも活用できると思います。全体を通して記入欄が多く、記入したものを生かして発表したり、自分の言葉でまとめたりする学習に

は使いやすいと思われます。日本の伝統コーナーにおいて、それぞれの郷土に目を向け、日本全国の地域の工芸品や特産物を学ぶこともできます。

次に、開隆堂について報告させていただきます。学習指導要領の教科の目標とかかわりという観点では、調査や実習を多く取り入れ、実践的・体験的にわかりやすく学習が進められるように工夫されています。生活の中から課題を見つけて、解決する学習になっています。例えば、給食の献立から栄養のチェックをする学習、教室の掃除の見直しの学習等で全ての児童に身近な題材が取り上げられています。基礎・基本が確実に身につくように、題材を細かく構成、配列し、スモールステップで学習が積み重ねられるように工夫してあります。

また、「チャレンジコーナー」では、家庭生活に生かすための実践例が写真やイラストを用いて紹介され、家庭での実習の参考になります。内容の点では、教科書の最後に小学校5、6年の2年間の学習の振り返りがあり、中学校の技術家庭科の学習の内容の一部が言葉や写真で示され、これからの学習の意欲づけが図られています。

キャリア教育に関連するものとしては、「達人に聞きました」のコーナーがあります。「成長したわたしたち」、「中学生に向かって」というところに書き込むコーナーがあり、中学校での学習の意欲化が図られています。

単元の配列が5年から6年に発展していくように示されています。野菜の洗い方、ゆで方、整理整頓の学習では写真が多く使われ、一目で大変わかりやすく示されています。1食分の献立の例では、家庭で一般的な日常食が多く使われています。野菜の切り方は、コーティングされた裏表紙に写真が掲載されており、多少ぬれても大丈夫なので、調理実習のときにも活用しやすく工夫されていると思います。

資料については、見開きで学習や作業が進行できるようなレイアウトになっています。図やイラストはやや小さめで、落ちついた紙面構成になっています。調理手順では、写真が多く使われ、実際に具体的にわかりやすく示してあります。さらに、児童が間違いやすいところは、拡大の図や写真が示されています。

表記・表現については、難しい漢字には振り仮名をつけ、難解な言葉は欄外の「ひとロメモ」で注釈が多くついています。何とかです、さすが基本になっていますが、何々しましょうのような呼びかけの言葉も多く用いられています。

色覚の個人差に対応したNPOカラーユニバーサルデザイン機構により認証されたCUDマークがついています。全体の文字は他社よりもやや濃い色合いで、写真やイラストは大変鮮明な色遣いになっています。教科書のめくりの部分にはどの内容の学習かすぐわかるように爪見出し4色で色分けされています。総ページ数113ページ、264グラム、厚さ6ミリ強です。

総括として、越谷の児童が学習するという観点からは、話し合おうというコーナーでグループやクラス全体での話し合い、考えを深めたり、発表したりできるように設定してあり、言語力を

育成するには大変有効だと考えられます。

地域の伝統料理や特産物のコーナーでは、埼玉県の深谷ねぎが紹介されています。

次に、教科書の推薦についてでございますが、東京書籍の教科書は児童が関心を持って意欲的に、自主的に学習を進めるように工夫されています。

開隆堂の教科書は、基礎・基本の確実な定着を図ることに重点を置いた教科書であるという印象を持ちました。

以上の理由で、東京書籍、開隆堂が越谷市立小学校の実態に適合していると考え推薦します。

説明及び教科書の推薦につきましては、これで以上です。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。どなたかご質問。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 家庭科は、日常生活の中で衣食住とかかわる範囲が広いと思いますが、特に食育や環境、防災など今日的な課題についてどのように扱われているのでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、防災では日々の蓄えのコーナーを設け、電気、ガスを使わない炊飯、家族での防災会議等で、災害の対応方法を記載しています。また、食の安全というところでは、弁当づくりのところに衛生面を注意することが記載されています。消費期限、賞味期限の違い等も明記されています。

開隆堂では、防災のところでは防災のコーナーを設け、防災に備えての持ち出し品の整理整頓、家族でつくる安全マップの活用等が記載されております。また、食の安全につきましては、食物アレルギーや食中毒に対する注意の記述がありました。

住田委員長 他にございませんでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 基本的な作業や動作を確実に習得するために、どのような工夫が見られるのでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍さんのほうは、目次と各学習の項目の中に「いつも確かめよう」というコーナーを配置し、機会あるごとに基礎的な技能を振り返りながら学習が進められるように配慮してあります。また、巻末の「いつも確かめよう」というコーナーでは、包丁の使い方などが右きき用、左きき用の写真とともに掲示してあります。

開隆堂さんは、表紙の見返しに大きく2年間の学習の見通しを示し、題材の配列にストーリー性が見られます。また、基本的な技能や手順を数多くの写真で示すとともに、「できたかな」というコーナーを設定し、チェックリストで自己評価ができるように工夫してあります。

住田委員長 それでは、私のほうから1つ。家庭科の場合、家族の一員として生活をよりよくしようとする工夫を身につけ、家族生活を大切にしようとするその心情を育てるといいますか、そう

というようなものにはどのような工夫がなされていますでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍のほうでは、やはりコーナーなのですけども、「まかせてね今日の食事」、それからコーナーではなく単元になるのでしょうか、「あなたは家庭や地域の宝物」など、これまでの学習と実生活との関連づける課題解決的な学習を設定してあります。

開隆堂では、「家族に協力して仕事をしよう」や「楽しく団らん」というところにおいて、話し合おうということが設けられ、話し合い活動を通して家族の一員としてのよりよい生活について考える学習を設定してあります。

住田委員長 他にどなたか。他にございませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ質疑のほうを終わらせていただきます。

選定委員のご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、資料にかかわり、質問にもありましたので、基礎・基本の確実な習得に役立つ資料の活用という視点から、日常生活に必要な基礎的・基本的知識及び技能を身につけさせる工夫について協議したいと思います。ご意見のほうお願いいたします。

では、櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書では、「いつも確かめよう」というのが茶色いところでわかりやすくなっています、ここでいろいろ確かめながらできるようになっています。特に巻末のところには、大きな見出しで「いつも確かめよう」となっています。右ききと左ききの写真が手と同じ大きさで掲載している点がすごく特徴があって、しかも1つではなくて、包丁で材料を切るところと、川を剥くところと、針で縫うところ、布を断つところと、左ききに対する配慮が大変特徴であると思います。また、この見開きの部分のレイアウトがとても見やすいと思います。

住田委員長 他にはよろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 では、私のほうで少し気がついたのですが、今日では家事仕事、家のことなのですけども、仕方が大分変わってきて忘れがちなのですけども、洗濯の手洗いという学習項目が両社とも、東京書籍ですと79ページ、それから開隆堂ですと85ページにねじり絞りとして載せているのでありますけれども、いわゆる雑巾絞りと同じように両手を使って内側に絞るというようなことは触れていません。ただ、東京書籍の125ページ、少し見ていただきたいのですが、裏返しになっています。

〔「これですね」と答える者あり〕

住田委員長 その裏側です。雑巾の絞り方として絵と文で説明しているのですが、これが洗濯物の

手洗いの箇所の応用するというような記述はなかったのです。それが少し残念だなというふうに感じました。

他には何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、今度は初めに調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり、家庭生活を大切にする心情を育むことは家庭科の本質であると考えています。また、質問にもありましたので、家庭生活を大切にする心情を育むための工夫がどのように図られているかについて協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書ですけれども、単元の最後で「あなたは家庭や地域の宝物」という単元がありますけれども、これもとてもいいと思います。

それから、各単元の学習過程の最終段階に、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」というところがありまして、家庭生活に結びつく課題解決学習を重視するという傾向が見られるところの単元だと思います。

住田委員長 他にはどなたかないでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 私も、今、櫻田代理が言ったように、ほとんど重複するかと思いますけれども、開隆堂で「家庭生活に協力して仕事をしよう」とか、「楽しく団らん」などで話し合おうの欄が設けられていて、家族の話し合いを通して家族の一員としての意識を強くさせるというようなことが印象的に思われました。

他には何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、調査の観点、内容及び総括とのかかわりで質問にもありましたので、変化する家庭生活等への対応という視点で、今日的な課題の取り扱いはどうなっているのかについて協議したいと思います。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書なのですけれども、防災や環境への配慮が高いことが特色だと思います。防災については、この東日本大震災の後、「ファイト新聞」を発行した小学生を紹介するページを大きく取り上げています。また、持続可能な開発のための教育の視点を前面に出すなど環境教育への意識が高いことが特色だと思います。

住田委員長 それでは、他には。

〔発言する者なし〕

住田委員長 私のほうは、今も少しあったのですけれども、環境の問題です。そこで印象的だった

のは、開隆堂の14ページに「汚した水を戻すには」という調理で使用した油や洗剤、1ミリリットル、要するに1ccを川や海に流したときに、魚がすめるようになるために必要な水の量の記述がありました。これが非常に印象的で、これはいわゆるBODといいまして生物化学的酸素要求量という、そういうはかり方があるのですけれども、そこにつながる大事な事項なのです。それを取り上げていると。

また、開隆堂では28、29ページのごみを減らすとして、3つのRです。リデュース、リユース、リサイクルというような説明が非常に詳しく載っていたり、マークも載っているというふうに環境に対する記述も多く、非常に印象的に思いました。

一方、東京書籍は、50ページにごみを減らす記述がありますが、扱いは少し小さいのかなというふうにも思われました。

それから、安全とか衛生の面で、両社とも多くの箇所であらわれていていいのですけれども、例年、全国各地で発生しているソラニン中毒というものがあるわけですが、要するにジャガイモの芽の毒ですね、簡単に言えば。それを避けるために、開隆堂では101ページで「ジャガイモは太陽が苦手」というその載せ方をされていて、これにあらわれているという点が印象的でした。学校菜園で収穫したジャガイモ料理とか、アウトドアで料理をするというような際にも、この中毒というのは非常に意味のある話だろうということで、とにかくソラニン中毒というのは神経毒で少し怖いですから、このコーナーというのは非常に私は印象深く思いました。

他にはありますでしょうか。他に協議したい内容はないでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより家庭の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動お願いいたします。

住田委員長 それでは、これより秘密会といたします。

家庭の教科用図書の採択に係る最終協議を行います、何かご意見ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

初めに、A委員。

A委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 開隆堂ですね。

B委員。

B委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 C委員。

C委員 開隆堂でお願いいたします。

住田委員長 D委員。

D委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 4人とも開隆堂ということで意見が一致しておりますので、開隆堂に決したいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決します。

それでは、秘密会を終わります。

引き続き、今度は保健に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場に移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

保健の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 保健の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

堀江選定委員（荻島小校長） それでは、体育保健の教科書についてご説明させていただきます。

東書につきましては、サイズはA B判、縦がB 5判の横がA 4判になります。導入段階で生活を振り返り、課題意識を持たせ、意欲を高める工夫がされ、今の生活習慣や、これからすべき活動等を記入できるように工夫されています。1単位時間45分間ごとに「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「ふり返ってみよう」、「活用して深めよう」という展開がパターン化され、習得した知識を実生活に生かせる活動内容を示されています。

学習内容の中に「つなげよう」というコーナーがあり、他学年や中学校との系統性を配慮した関連事項が表記されています。未習の漢字につきましては、振り仮名が振られ、わかりにくい言葉については解説の中で説明がされています。1単位時間が見開き2ページでまとめられ、多くのイラストや資料を効果的に使い分け、学習展開が明確に示されています。図表や写真も多く掲載され、「広げよう」、「豆知識」など人とのかかわりや発展的な内容に触れ、興味を持たせる工夫がされています。

カラーユニバーサルデザインの検証とユニバーサルデザイン書体で編集され、落ちついた色合いになっています。このようなことから、基礎的・基本的な知識の習得と資料の活用能力、言語活動の充実から学力の定着を図り、実生活に生かせるように工夫がされています。

次に、大日本につきましては、サイズはB 5判でございます。導入の段階で学習をナビゲートするゲームを提示し、興味・関心を高める内容になっています。実生活が意識できるように、学校、家庭、地域を例示する絵を多く使用し、自分の考えを記入する活動から課題が意識できる内容となっています。ゲーム、課題をつかむ、やってみよう、書いたり発表しよう、まとめ、生活に生かそうの学習の流れと、毎時間の最後に「活用」と記された部分があり、そこで学習内容を振り返ることができるよう工夫されています。

「〇年生で学習したね」等の項目があり、既習の内容との関連性や系統性が示されています。「発展的な学習」のコーナーから中学校への学習のつながりを意識的に持たせ、これからの生活に役立つ内容になっています。全体的にイラストや絵で学習内容をわかりやすく示してあります。また、4年生の児童の身長の変化や食生活を調べる学習では、シールを活用し、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

未習の漢字には振り仮名が振られています。ミニ知識のコーナーから学習の深まりや発展学習につなげていくように工夫されています。多くのキャラクターを用いて、児童に学習活動のヒントを与えています。ユニバーサルデザインに配慮した構成になっていて、見やすい配色になっています。洗練された資料や統計を用い、基礎的・基本的な知識を習得しやすい工夫がされ、「話合ってみよう」では自分の考えを話し合う活動に生かすことによって、言語活動の充実を図る学習内容にもつながっていきます。

続いて、文教社につきましては、サイズはA判でございます。導入の段階でわかりやすい図やイラストを数多く掲載し、学習意欲を高める工夫と今日的な課題や実生活を振り返りやすい題材を活用しています。1単位時間の学習内容を見開き2ページでまとめられ、「話合ってみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」など学習展開が明確に示されています。また、アスリートからのメッセージが記されており、この学習内容により興味・関心を持つように工夫されています。

教科書の下段に、他教科、他学年への学習内容との系統性が説明されています。さらに、「発展」という形で関連した内容を示され、情報コーナーにより発展的な学習につながるように工夫がされています。

課題追究に必要な写真、イラスト、グラフなど資料を精選し、視覚効果を重視したレイアウトになっています。また、単元の初めの動機づけのページには、各学年に応じた活動や資料を提示し、児童が単元への見通しを持てるよう工夫されています。重要な語句は太字で記されています。課題が持ちやすく、優しい図表や色遣いなどで児童になじみやすく、学習のまとめとして各単元の終わりにこれからの自分へとして実践への意欲づけが図られています。

次に、光文につきましては、サイズはB 5判でございます。導入の段階で児童の生活と関連づけさせ、身近な題材から学習意欲が高まるよう工夫されています。今日的な課題設定から必要性が高まるとともに、実践力へとつながるよう具体的な内容が明記されています。学習内容を確実

に定着させるための「つかむ」があります。さらに、学習したことをもとにして考える「活用」の場面が、身近な問題として習得した知識を活用する学習活動「あてはめよう」、「見つけよう」、「つたえよう」という内容に分かれています。

教科書の下段に他学年との系統性が説明されております。説明を深めることのできるよう、マークでわかりやすく表示されています。また、「発展」というマークがあり、5、6年生の学習内容より少し進んだ内容が記され、中学校との系統性を配慮し、知識を活用することのできるよう構成されています。未習の漢字につきましては振り仮名が振ってあり、文章量は学年に応じて適量になっています。重要な語句は太字で記されています。視覚による理解を図るため、はっきりとしたイラスト、図表、写真等で構成され、知識の習得のしやすい資料が数多く掲載されています。

今日的課題を豊富にそろえ、学習に広がりを持たせています。また、社会的課題も紙面に入れ、生活と密接に保健学習がかかわっていることを理解でき、実生活と比較しながら学習活動を進めることができます。

次に、学研につきましては、サイズはA4判でございます。全てが1単位時間、2ページで構成されています。導入からまとめを通して習得した知識を実践的に活用し、理解が深まる構成になっております。学習展開をパターン化することにより、見通しを持って学習活動に取り組むことができます。学習課題、学習の進め方、活動がわかりやすく示されています。学習したことを生かして取り組む活用があり、確かな学力を育成することができます。また、学習を広げたり深めたりする場面も明示されていて、わかりやすくなっています。随所に協働学習の課題がマークで記され、自分の考えを明確にさせながら、友達や家族、地域とともに学習を進めることのできる内容になっています。

学習の系統性や他教科とのつながりは、「関連」のマークが明記されています。保健学習が生活に生かせる展開となり、段階的に学習を取り組ませることができています。また、中学校への学習内容にもつながる洗練された内容になっています。未習の漢字については振り仮名が振ってあり、言葉の説明が優しく表記され、紙面が大きく、イラストの色遣いや写真の色が鮮やかではっきりしています。

「もっと知りたい・調べたい」というページが各単元にあり、写真などでわかりやすく発展的な内容が記されています。ユニバーサルフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮して作成されています。協働学習を取り入れ、言語活動能力を高められる学習展開がされています。課題を設定し、考え、話し合い、まとめ、実践という学習パターンが決まっていて、取り組みやすい内容になっています。

次に、教科書の推薦でございますが、光文は学習指導要領の教科の目標とのかかわりを重点に、課題から効果的な見やすい資料の活用や実践生活に生かす授業の展開ができる理由で、学研は同

じく学習指導要領の教科の目標とのかかわりを重点に、見通しを持った学習活動と資料を活用しての協働学習から実生活に生かせる授業展開ができる理由で、越谷市立小学校の実態に適應していると考え、推薦いたします。

ご説明及び教科書の推薦につきましては、以上です。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

まず、私のほうから1つ聞かせていただきたいのですが、体育の保健とその食育、そのかわりについてはどのように扱っておるでしょうか。

堀江選定委員（荻島小校長） 5社全ての教科書において、3学年「毎日の生活とけんこう」と4学年の「育ちゆく体とわたし」の中で取り上げています。

東書においては、「早寝早起き朝ごはん」の取り組みを「広げよう」の中で取り上げ、1日分の朝食摂取チェックカードが掲載されています。さらに、バランスのよい食事としてたんぱく質、ビタミン、カルシウムを多く含む食材なども紹介されています。

大日本につきましては、表紙には給食の写真が使われていて、1日3回の規則正しい食事の大切さを取り上げています。さらに、1ページを使ってたんぱく質、カルシウム、ビタミン、炭水化物を多く含む食材の紹介もされています。

文教社につきましては、バランスのとれた食事について給食を例として、1ページを使ってたんぱく質、無機質（カルシウムを含む）、ビタミン、炭水化物、脂肪等、多くのものを含む食材の紹介がされています。

光文につきましては、食育コーナーを設け、朝食を食べる必要性を示されています。さらに、たんぱく質、カルシウム、ビタミンなどを中心とした種類の食品をバランスよく食べることがポイントとして示されています。

学研につきましては、「もっと知りたい・調べたい」において、食事をとらないと起こる弊害を示し、またバランスのとれた食事について学習する展開が2ページ用いて取り上げております。

以上でございます。

住田委員長 他にどなたか。

堀川委員。

堀川委員 自然災害発生時のけがの防止についてどのように扱われておりますでしょうか。

堀江選定委員（荻島小校長） それでは、自然災害についてですが、東書につきましては自然災害によるけがの防止という通常時間でない1時間扱いとして、地震と津波発生時の具体的な対処法を示しています。

大日本につきましては、発展の中に自然災害に備えようとして1ページ分取り上げております。

文教社につきましては、6年生の最終単元、地域の保健活動の中で、東日本大震災を例に挙げ

一部取り上げております。

光文につきましては、「発展」として「地震から身を守る」が2ページ、「津波から身を守る」1ページ、「災害に備える」、「地域との安全な環境づくり」で1ページが4ページ分取り上げられております。

学研につきましては、小学校3、4年の巻末で災害時の対処方法を示すとともに、小学校5年、6年の「けがの防止」、「もっと知りたい・調べたい」の中で2ページにわたり地震（津波や火災）、台風、竜巻等の被害を紹介し、日ごろからの備えと対処が取り上げられています。

以上でございます。

住田委員長 堀川委員。

堀川委員 ありがとうございました。連日、このように暑くて、ニュースでも毎日、熱中症患者が何人運ばれましたというような報道がありますけれども、熱中症の対処法などについてはどのように扱われておりますでしょうか。

堀江選定委員（荻島小校長） 熱中症の対処法につきましても、保健学習では、その時々の一時的な内容として、その「けがの防止」の中で取り上げられております。

住田委員長 他には。

堀川委員。

堀川委員 済みません。もう一点だけお願いします。

発展的な学習や知識を活用する学習の充実ということに向けては、どのような工夫が見受けられますか。

堀江選定委員（荻島小校長） それでは、東書につきましては、「考えてみよう」、「活用して深めよう」のコーナーがあり、学習したことをもとに考えたり、原因を分析したりする活動が設定されています。また、話し合う視点も示されています。

大日本のほうでは、各項目の最後に活用のコーナーが置かれ、自分の考えを書き込む活動が設定されています。また、みずからの実生活を振り返って話し合う課題が示されています。

文教社につきましては、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」のコーナーが置かれ、思考判断の必要な場面の検証や、みずから生活を振り返る活動が設定されています。

光文につきましては、「あてはめよう」、「見つけよう」、「伝えよう」のコーナーが置かれ、学んだことをほかの人に伝える学習が設定されています。また、話し合いの視点がマークで示されています。

学研につきましては、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」のコーナーが置かれ、これらの生活に生かしたいことを考える課題や話し合いの視点が示されています。

そのような形となります。

堀川委員 わかりました。

住田委員長 他には。

〔発言する者なし〕

住田委員長 少しお聞きしますけれども、3年、4年、それから5年、6年と4カ年間で2冊と分冊になっているわけですが、その判型とページ数についてはいかがでしょうか。

堀江選定委員（荻島小校長） 判型につきましては、冒頭に申し上げましたが、東書のほうにつきましてはA B判といって横がA 4判、縦がB 5判のサイズになっています。

それから、大日本のほうにつきましては、B 5判の小型のサイズになっています。

それから、文教社のほうにつきましてはA 4判の大きい判、光文につきましてはB 5判のコンパクトの小さい判、学研につきましてはA 4判の大きい判、ページ数につきましては東書のほうは88ページ、大日本につきましては80ページ、文教社につきましては72ページ、光文につきましては80ページ、学研につきましては88ページというふうになっています。よろしくお願いします。

住田委員長 他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になれば質疑のほうを終わります。

選定委員のご退室をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

初めに、調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて、質問にもありましたので、身近な生活における健康、安全を実践的に理解させるための工夫について協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 各社の単元の導入部分に身近な生活と健康、あるいは安全というものを関連させて気づかせる工夫がされていると思いました。光文は、身近な生活と結びつく図表や写真が配置されていて、お友達と話し合ったり、みずからの生活をチェックする学習が設定されていると思います。

学研も身近な生活の1こまを表したようなイラスト、チェックリストなどがあり、振り返る学習ができるのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、次に調査の観点、学習指導要領の教科の目標とのかかわり及び内容にかかわり、質問にもありましたので、児童がみずからの健康を維持する力を育成する視点から知識を活用する学習の充実について協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 知識を活用する学習を充実させるという点ですが、個々の児童が自分みずからの経験から考えたものを深めるといったことと、話し合いなどの中で他人の意見を聞いて、さらに深める活動がある、そういった話し合い活動などというものが有効かと思いますけれども、各社ともに話し合ってみようという場面が設定されていると思います。

光文は、「あてはめよう」、「見つけよう」、「伝えよう」の欄があり、学んだことをほかの人に伝える学習が設定されていて、よいのではないかと思います。また、話し合う視点がマークで示されていて、わかりやすいのではないかと思います。

それと、東京書籍、光文、学研については、そういった各社とも話し合ってみようということでは設定はされているのですけれども、その視点がより明確に示されていて、学習を深めやすいのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にどなたか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、調査の観点で、次に内容及び総括にかかわり、質問にもありましたので、変化する社会の中で健康を維持する力を育成する視点から、今日的な課題の取り扱いについて協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 今日的な課題の取り扱いについて、さまざまな課題があると思うのですけれども、各社ともに防災、安全、熱中症、AEDなど、あと昨今、少し話題にもなりました薬物乱用など今日的な課題を積極的に取り上げていると思います。中でも光文書院は、ネットの問題やストレス、相談機関の利用などの記述が多くて、内容もいいのではないかと思います。これからいろんな課題が出てくるかと思いますが、こういった内容については将来的にも時間をかけて学習してほしいところだと思います。

学研は、思春期の悩みについて多く記述があり、悩みへの対処の仕方も参考になるのではないかなというふうに思いました。

以上です。

住田委員長 他にはございませんでしょうか。

では、教育長。

吉田教育長 教科の目標から考えて健康、安全、先ほど来から出ていますけれども、実践的に理解することが重要で、その点からすると身近な生活における学習課題を確定し、それを解決する過程を通して、健康、安全の体制を築くということが大事になってきます。したがって、児童にとって学習内容が実生活とどれだけ深く結びついているか、また、その必要性を感じることができるよう工夫されているかどうか、これを見ていくというふうに思います。つけ足しですけれども。

住田委員長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、それでは保健の教科用図書は1種類で3つの判型があるわけでありますけれども、学習とのかかわりの視点から教科用図書の判型について協議したいと思います。ご意見のほうをお願いいたします。ないでしょうか。

では、堀川委員。

堀川委員 委員長さんからご指摘があったように、1つの科目で3種類の判型があるという例は少ないのではないかと思います。各社のページ数に大きな差異もないですし、判型の小さい図書については内容もよく精選されていて、特に大きな教科書との情報量の差異というものは感じませんでした。大きなA5判、A4ですか。

住田委員長 A4です。

堀川委員 A4の教科書については、写真などが大きく映っていて、そういう面ではイラストや写真が大きく掲載されていて、見やすいのかなというふうには感じましたけれども、B5判のほうについてはイラストや、そういったもので工夫されていて、大きな教科書に比べて劣っているというようなことはアンケートにもありませんでしたし、特に気になるところではないなというふうには思いました。

以上です。

住田委員長 ただいま堀川委員のほうからもございましたけれども、教科書用の図書の展示会のアンケート、そこのご意見の中でも、情報量が少ないというような意見は見当たりませんでした。学校からの調査研究報告というような中でも、最も多くの学校から推薦を光文というほうは得ているわけでありまして、判型が変わったというようなことから、情報量が不足しているというようなことはないのではないかなというふうに思われます。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、これより保健の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へのご移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、これより秘密会といたします。

それでは、保健の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

初めに、A委員。

A委員 光文をお願いします。

住田委員長 光文ですね。

B委員。

B委員 光文書院でお願いいたします。

住田委員長 C委員。

C委員 光文をお願いします。

住田委員長 D委員。

D委員 光文をお願いします。

住田委員長 では、4人とも光文というご意見で一致しておりますので、光文に決したいと思いますが、これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、光文に決します。

以上で秘密会を終わります。もとの会場に移動願います。

住田委員長 会議を再開いたします。

平成27年度使用小学校教科用図書の全ての種目について審議が終わりましたので、採択する教科用図書を種目名、発行者略称の順に読み上げます。なお、発行者番号及び教科用図書名については省略させていただきます。

平成27年度使用小学校教科用図書としまして

国語、光村。

書写、光村。

社会、東書。

地図、帝国。

算数、東書。

理科、学図。

生活、学図。

音楽、教芸。

図画工作、開隆堂。

家庭、開隆堂。

保健、光文。

特別支援教育につきましては、国語、算数、音楽を採択いたします。

なお、特別支援教育の国語、算数、音楽の教科書については、いずれも文部科学省著作でござ

います。

以上のとおりでございます。

これより第32号議案 平成27年度使用小学校教科用図書の採択についてを採決いたします。

以上の教科用図書を採択する旨、決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、ご異議ないものと認めまして、本案は以上のとおり可決いたしました。

◎その他

住田委員長 最後に、8月の定例教育委員会会議の日時でございますが、次回の教育委員会会議は8月28日木曜日、午前10時から、場所は教育委員会室で開催したいと存じます。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

住田委員長 それでは、これをもちまして臨時会を閉会といたします。

いろいろありがとうございました。

(午後 3時25分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

平成26年8月7日

委員長 住田 俊

委員 櫻田 玲子

委員 堀川 智子

委員 進藤 秀子

委員 吉田 茂
(教育長)

書記 教育総務課副主幹 渋谷 博之